

令和元年度

米子市文化ホール運営委員会 議案

日 時 令和元年2月13日（木）午後2時から
場 所 米子市役所第2庁舎2階 第1会議室

日 程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 令和元年度自主事業の実施状況について
 - (2) 平成30年度事業報告及び5年間の運営状況の推移
 - (3) 令和2年度自主事業計画（案）について
 - (4) その他
- 4 閉 会

資料目次

米子市文化ホール運営委員会委員名簿 P1

令和元年度自主事業の実施状況について
P2～P8

平成30年度事業報告
及び5年間の運営状況の推移 P9～P24

令和2年度自主事業計画（案）について
P25～P32

【補足資料】

モニタリングについて P33～P42

米子市文化ホール運営委員会委員名簿

任 期 令和元年10月1日から
令和3年9月30日まで
委員数 12名

氏 名	所 属 等	備 考
渡辺 由希子	米子市文化協議会	
田中 智子	米子市文化協議会	
大櫃 興紀	米子市自治連合会	
秋田 健一	米子市公民館連合会	
万木 良平	米子青年会議所	
永東 昌美	米子市女性人材バンク	
佐貫 馨	連合鳥取西部地域協議会	
来間 直樹	A I R 4 7 5	
松嶋 和弘	米子市小学校校長会	
安次 里絵	米子市中学校校長会	
清水 泰	公 募 委 員	
田中 彩子	公 募 委 員	

令和元年度自主事業の実施状況について

令和元年度 米子市公会堂自主事業報告



実施中か今後実施予定

区分	事業名	開催日	内 容			
			区分	参加者数	収入額(円)	支出額(円)
鑑賞事業	リチャード・クレイダーマン2019 (鳥取県文化振興財団共催)	5/13(月)	鳥取県文化振興財団と共催でリチャード・クレイダーマンによるピアノコンサートを開催。ジャンルを超えた音楽性とピアノ愛に溢れる上質なコンサートを提供した。 入場料:S席7,500円、A席6,500円、高校生・大学生2,000円、小学・中学生1,000円 会場:大ホール			
			予定	980	—	—
			結果	996	—	—
	米子市公会堂 虹のひろば (虹のひろば実行委員会共催)	①6/4(火)夜 ②9/17(火)昼 ③1/5(日)昼	ホワイエコンサートを実施。地元を中心としたアーティストによる演奏を気軽に楽しんでもらう。今年度は3回開催した。 入場料:一般500円 会場:ホワイエ			
			168	「松原愛実ソプラノコンサート」		
			190	「大原章子サロンコンサート」		
			132	「トランペット&ピアノ 新春デュオコンサート」		
			予定	400	160,000	260,000
	結果	490				
	東京バレエ団 ドン・キホーテの夢 (鳥取県文化振興財団共催)	8/10(土)	鳥取県文化振興財団と共催でバレエ公演を開催。子供のためのバレエシリーズとして、子どもや親子で一流の舞台芸術に触れる機会を提供した。 入場料:一般6,000円 高校生以下3,000円 会場:大ホール			
			予定	930	—	—
			結果	668	—	—
米子なつかしの名画劇場 (米子シネマクラブ協力)	9/7(土)	文化庁所蔵の懐かしい名画を大スクリーンで鑑賞する機会を市民に提供し、日本映画の良さを認識してもらう。本年度は市川崑監督作品「東京オリンピック」と「おはん」を上映した。 入場料:一般500円、高校生以下100円、ペア券800円 会場:大ホール				
		予定	300	200,000	300,000	
		結果	243	158,700	265,051	
第2回わっしょい米子まつり (鳥取県文化振興財団・中海テレビ放送共催)	10/12(土)	昨年に続き、米子出身のメンバーを擁する、ブラック・ボトム・ブラス・バンドを中心に地元団体出演のコンサートを開催。地元音楽文化の活性化に努めた。今回は地元出身のofficial髭男dismのヴォーカル藤原聡をゲストに招いた。 入場料:一般3,000円 高校生以下500円 会場:大ホール				
		予定	800	—	—	
		結果	1,007	—	—	
春風亭昇太独演会 (BSS山陰放送・鳥取県文化振興財団共催)	12/15(日)	山陰放送・鳥取県文化振興財団と共催で、落語の独演会を開催した。29年度に続きテレビ等でも活躍中の春風亭昇太が出演し、本格的な落語を市民に楽しんでもらった。 入場料:4,000円 会場:大ホール				
		予定	900	—	—	
		結果	1,082	—	—	
鑑賞事業	MUGEN∞能 (鳥取県文化振興財団共催)	1/10(金)	鳥取県文化振興財団と共催で能楽公演を開催。若手能楽師4人による舞台上、地方で観る機会の少ない能楽の世界を味わってもらった。 入場料:特等5,000円、一等4,000円、二等3,000円、高校生・大学生2,000円、中学生・小学生1,000円 会場:大ホール			
			予定	780	—	—
			結果	504	—	—

区分	事業名	開催日	内容			
			区分	参加者数	収入額(円)	支出額(円)
参加型事業	市民交流事業		公会堂を活用し、各団体や利用者、アーティストらと連携を図りイベントを開催することで、市民交流やにぎわいを創出し中心市街地の活性化に努めた。 参加費無料			
		①5/18(土)、19(日)	650	春の文化祭(全館)		
		②8/14(水)	700	米子盆踊り大会(前庭:米子盆踊り実行委員会に協力)		
		③8/17(土)	700	夏祭り(前庭)		
		④9/7(土)	243	なつかしの名画劇場関連事業(ホワイエ:米子市立山陰歴史館連携)		
		⑤10/26(土)	350	ハッピー・ハロウィン(前庭、近隣をパレード:角盤町商店街振興組合と共催)		
		⑥10/26(土)	50	高校生の主張(前庭、米子南高共催)		
		⑦12/6(金)	350	マチナカクリスタル点灯式(前庭:米子南高、米子工業、県電業協会西部支部と共催)		
		予定	2,000	300,000	900,000	
		結果	3,043			
(米子市共催)	NHK のど自慢 公開収録	8/24(土) 25(日)	NHK鳥取放送局、米子市と共催で公開収録を実施。今年度は人気番組「NHK のど自慢」を開催し、予選会・本選共に大勢の出演者や観客で賑わった。 入場料:無料(往復はがきによる抽選) 会場:大ホール			
			予定	1,754	—	—
			結果	1,755	—	—
教育普及事業	夏井いつき句会ライブ in 米子 (BSS山陰放送共催)	6/15(土)	BSS山陰放送共催でテレビでおなじみの夏井いつきによる句会ライブを開催。観客が実際に俳句を作り、夏井いつき本人が指導する体験型の講演で、俳句の経験が無い人にも楽しんでもらうことができた。 入場料:一般2,500円、中学生以下1,500円 会場:大ホール			
			予定	1,000	—	—
			結果	651	—	—
	Feelおでかけ事業	6/28(金)	427	「いろいろな楽器の音の重なり・響きをきこう。フルート&バイオリン&ピアノ」 会場:明道小学校、住吉小学校		
		10/11(金)	101	「体感しよう! JAZZの世界」 会場:大篠津小学校		
		予定	300	0	50,000	
		結果	528	50,000	98,300	
米子高専連携事業 子ども科学実験教室 (米子高専共催)	7/30(火)	夏休みの小学生を対象に、米子高専の竹中敦司先生らを講師として、「ドライアイスの秘密を探ろう」「手形を発砲スチロールに残そう」などの実験講座を行った。 参加費:無料(材料費別途) 会場:ホワイエ				
		予定	20	—	—	
		結果	38	—	—	
教育普及事業	財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	10/5(土)	「米子城フェスタ」に合わせ、当財団が管理している施設が一堂に介し、各施設が特色あるワークショップ等を開催することにより、米子市文化財団の認知度を高めるとともに、文化活動への関心を広げた。 会場:米子城跡三の丸広場(米子市宮湊山球場)			
			予定	1,000	—	—
			結果	2,037	—	—

令和元年度 米子市文化ホール自主事業報告

実施中か今後実施予定

区分	事業名	開催日	内容			
			区分	参加者数	収入額(円)	支出額(円)
鑑賞事業	劇団四季 ミュージカル (米子市教育委員会共催)	7月17日(水)	(一財)舞台芸術センターが“こころの劇場”として全国公演をしている劇団四季ミュージカル「はだかの王様」公演を米子市教育委員会と共催で実施した。 会場:メインホール 入場料:無料			
			予定	1,100	0	0
	結果	1,187	0	0		
	米子歴史絵巻 (山陰歴史館共催) (児童文化センター協力)	10月27日(日)	米子市立山陰歴史館と共催で歴史的遺産を活用した事業「下蚊屋の荒神神楽」を解説を交え実施した。 会場:国史跡米子城地内の日本庭園 入場料:無料			
予定			150	0	150,000	
結果	359	0	27,710			
参加型事業	第61回米子市音楽祭 (米子市音楽祭実行委員会共催)	サロンコンサート 6/9(日)	178	地元の音楽団体による音楽演奏会を開催し、演奏レベルの向上と音楽の普及を図る。公募によるコンサート(合唱JAZZ・アコースティック・フリージャンル・アカペラ/バンド)を開催した。イベントホールでサロンコンサートも開催した。 会場:米子市文化ホール、米子市公会堂、米子市淀江文化センター 入場料:一般500円、中学生以下無料(5コンサート共通券) サロンコンサート1,000円		
		合唱 6/16(日)	769			
		アカペラ・バンド 6/22(土)	274			
		フリージャンル 6/24(日)	451			
		JAZZ 6/29(土)	415			
		アコースティック 7/7(日)	715			
	予定	2,610	1,650,000	1,650,000		
	結果	2,802	1,767,500	1,768,811		
	童謡講座		市民へ童謡の普及を図るため、参加者が講師と一緒に歌う童謡講座を実施する。			
	懐かしい童謡(月曜コース)	毎月第2月曜日	申込者数363人、参加費 1,000円			
新しい童謡(木曜コース)	毎月第4木曜日	申込者数98人、参加費 1,000円				
チャイルドコース	毎月第4木曜日	無料				
わらべ館コンサート	7/8(月)	月曜コースの7月をわらべ館との連携講座として実施 324人				
童謡特別講座	3/1(日)	童謡歌手を招き、来場者も一緒に歌って楽しめるコンサートを開催する。入場無料				
		会場:(月曜・特別)メインホール、(木曜・チャイルド)イベントホール				
		予定	5,500	600,000	1,000,000	
結果	0	0	0			
「ダンス・フェス1ver.11」	2/8(土) 2/9(日)	ダンスの発表の場を提供するとともに、団体間の相互交流を図ることにより、ダンスへの理解と技術の向上を図る。 会場:公会堂大ホール 参加費:2,000円 入場料:各日1,000円				
		予定	1,200	1,150,000	1,600,000	
		結果	0	0	0	

区分	事業名	開催日	内容				
			区分	参加者数	収入額(円)	支出額(円)	
参加型事業	市民交流事業		文化ホール(多目的広場等)を活用して市民が集い、憩える場所を提供し地域活性化の一端を担う。また、文化事業の啓発を図る。				
		4月～5月	99	アートプロジェクトinスワンひろば(米子高校生徒による花壇デザイン@多目的広場/13回実施)			
		8/7(水)	18	舞台裏をのぞいてみよう! (メインホール/イベントホール)			
		9/7(土)	48	香道講座(和室1.2)			
		10/19(土)	2,800	農と食のフェスタinせいぶの一環でステージイベント、スイーツ通り(多目的広場、オープンスペース)全体で14,000人			
		10/20(日)	6,600	農と食のフェスタinせいぶの一環でステージイベント、スイーツ通り(多目的広場、オープンスペース)全体で33,000人			
		11/22(金)～1/31(金)	359	多目的広場イルミネーション点灯式YONAGOファンタジア(多目的広場、鳥取県電業協会西部支部共催) ※イルミネーション点灯11/22-1/31			
			予定	4,000	0	200,000	
			結果	9,924	0		
教育普及事業	鷺見三郎顕彰事業 第27回 米子ユースオーケストラ演奏会 鷺見恵理子 &米子ユースオーケストラ (鷺見三郎顕彰事業実行委員会共催)	3/22(日)	学校や音楽教室の枠を越えた青少年管弦楽演奏者を育成し、音楽文化振興に努める。年間を通じた練習活動を実施し、年1回発表会を行う。今回は、毎年行っている演奏会に加え没後35周年を記念したコンサートを行うことで、郷土の誇る鷺見三郎氏をさらにたくさんの方に知ってもらい、継続して顕彰事業を行う。 会場:メインホール 入場料:無料(整理券発行)				
			予定	450	0	1,400,000	
			結果	0	0	0	
	Feelおでかけ事業		8/17(土)	376 まちジャズ(角盤町える・もーる一番街)			
				童謡コンサート (通所リハビリテーションセンター仁風荘)			
			2/14(金)	予定	100	0	100,000
				結果	408	0	71,233
	情報提供事業	通年	文化ホール・公会堂・淀江文化センターの利用促進や事業PRをするために随時更新を行っている。3館の施設イベント案内情報紙Feelを毎月発行し、友の会会員等に配布。				
			予定	0	200,000	400,000	
			結果	0	0	0	
財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	10/5(土)	米子市文化財団が管理している施設等が米子城跡三の丸広場(米子市宮湊山球場)に集い、施設ごとの特色あるワークショップ事業を体験してもらい、文化活動に対する関心の向上につなげた。					
		予定	1,000	0	0		
		結果	2,037	0	0		

区分	事業名	開催日	内容			
			区分:(人)	参加者数	収入額(円)	支出額(円)
鑑賞事業	星空コンサート (音の絵本制作委員会、よなご星の会、さなめラララ♪すてーじ実行委員会、米子市児童文化センターと連携)	7/20(土)	昨年に引き続き、ホール内では、宮沢賢治原作の「双子の星Ⅱ」の朗読、楽器と合唱による生演奏で紹介した。悪天候のため屋外の天体観察会は中止した。 入場料:一般500円、高校生以下300円、親子ペア700円、膝上未就学児無料(当日各100円増) 会場:大ホール			
			予定	264	149,000	414,000
			結果	237	91,100	298,135
	さなめラララ♪すてーじ (さなめラララ♪すてーじ実行委員会共催)	4/6(土)	季節感を取り入れながら、地元で活躍しておられる音楽グループの発表の場を作るとともに、鑑賞型のミニコンサート「桜奏(ハルカナデ)」を開催した。 出演者:琴アンサンブル安田会、神庭智子・渡邊芳恵、田村悟朗、La deux 入場料:一般500円 小中高300円(膝上未就学児無料) 会場:ロビー			
			予定	100	60,000	70,000
			結果	135	59,400	-
	ファミリーコンサート ～音楽のおもちゃ箱～ (特定非営利活動法人こども未来ネットワークと連携)	9/21(土)	「打楽器アンサンブルY'z」により、ファミリー向けコンサートを1日2ステージ実施した。幼少期には聴く機会が少ない生演奏のクラシックコンサートを親子で楽しむことにより音楽の感性を養うと共に、ホール利用のマナーを身に付けるきっかけ作りとした。 また、毎年恒例の木のおもちゃ体験コーナーなども大変好評であった。 入場料:大人500円、中学生以下300円(当日各200円増) 会場:大ホール			
			予定	540	220,000	260,000
			結果	436	184,000	199,233
	市民交流事業		地域の人たちの作品展示の場としてロビーを提供し、地域活性化の一端を担った。 また、気軽にレコードを鑑賞できる場や郷土芸能や落語を見る機会として「さなめ寿劇場」を実施した。			
		①4/27(土) ～5/6(月・振)	638	淀江のサイノカミさんく(株)白鳳(上淀白鳳の丘展示館)と共催>		
		②11/21(木)	610	第18回ゆめ講演会「iPS細胞による夢の医療の実現に向けて」講師:戸口田淳也		
③4/1(月)～現在			さなめ木彫会作品展示			
④4/9、5/14、6/11、7/9、8/6、9/10、10/8、11/5、12/10、1/14、2/11、3/10(火)			【ランチタイムレコード】 平日の昼間にLPレコード鑑賞の機会と、60回記念には蓄音機でSPレコードを聞く機会を提供した。レクチャー講座を開講したり、昭和歌謡曲の番組とも連携した。 会場:イベントホールまたはロビー			
⑤12/17(火) 1/13(月・祝) 3/19(木)			【さなめ寿劇場】 其之壱:郷土芸能「淀江さんこ節」 其之弐:新春寄席、 其之参:無声映画「三朝小唄」上映とSPレコード鑑賞			
⑥2/10(月)～2/24(月・祝)			淀江魅力再発見!フォトコンテスト2019展示			
		予定	3,000	35,000	155,000	
	結果	-	-	-		

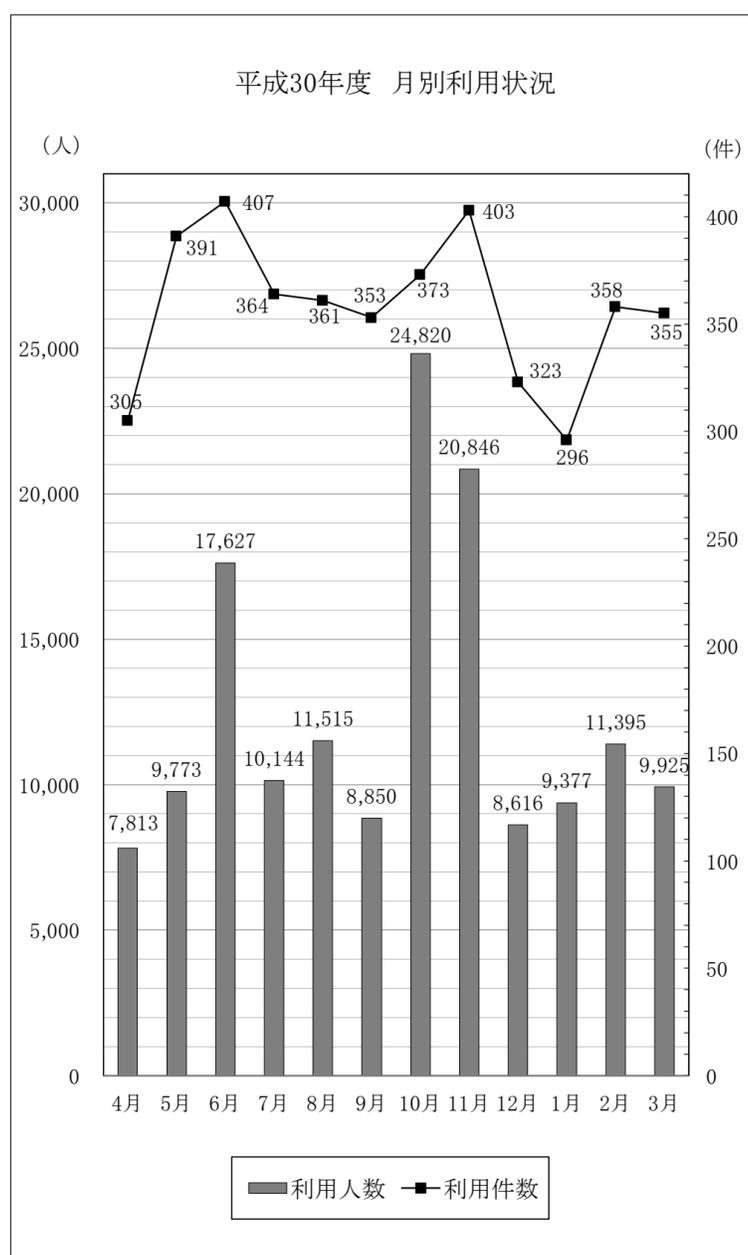
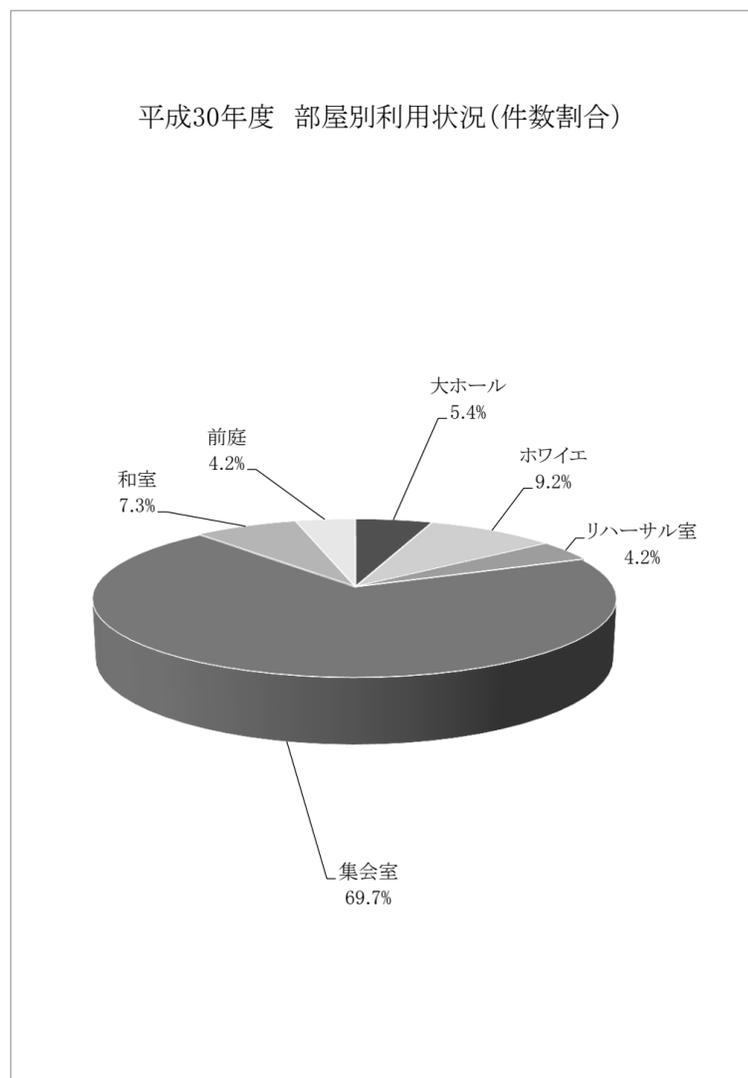
区分	事業名	開催日	内容			
			区分:(人)	参加者数	収入額(円)	支出額(円)
鑑賞事業	Feelおでかけ事業	3/12(木)	普段、ホールに出かける機会が少ない入院患者の方や、デイサービス利用者を対象にアウトリーチを行う。 無声映画「三朝小唄」を見ていただく。(予定) 会場:サンライズ名和			
			予定	100	0	50,000
			結果	-	-	-
参加型事業	こども夢広場 (よどえ夢まつり実行委員会と連携)	10/20(日)	第36回淀江町産業祭(よどえ夢まつり)に協賛して「こども夢広場、大型紙芝居ヒーローになりたい!、ミニ四駆大会」などを実施した。 会場:イベントホール、ホワイエ、玄関前広場 入場料:無料			
			予定	3,500	0	0
			結果	4,000	0	0
	利用促進事業 開放舞台。	8/31(土) 9/16(月・祝) 10/19(土)	ホールの利用促進に繋げるために、大ホールでは、反響板とベーゼンドルファーピアノを低料金で利用していただいた。 会場:大ホール舞台			
			予定	11	(14,190)	0
教育普及事業	米子高専連携事業	8/9(金)	16 工作教室「リサイクル工作でランプを作ろう!」 身近にある使わなくなった材料を使ったオリジナルランプ作りを行った。 (小学1年~6年生対象) 会場:イベントホール 参加費:無料 連携:米子市美術館			
			夏休みこども体験教室 (米子高専・米子市美術館と連携)	8/9(金)	17 科学教室「光の不思議とマイナス196度の世界の化学を体験しよう!」 米子市美術館のYonagoヒカリ☆マチアートプロジェクト事業として、光の作用を使った科学実験と食べ物を凍らす液体窒素のふしぎを実験を通して体験した。 (小学1年~6年生対象、低学年は保護者同伴) 会場:イベントホール 参加費:無料	
	予定	50			0	0
	結果	44			40,019	40,019
	財団連携事業	米子市文化財団フェスティバル	10/5(土)	「米子城フェスタ」に合わせ、当財団が管理している施設が一堂に介し、各施設が特色あるワークショップ等を開催することにより、米子市文化財団の認知度を高めるとともに、文化活動への関心を広げた。 米子市公会堂と協力して、「ハッピー★ハロウィーン”おめでとう仮装体験”を行った。 会場:米子城跡三の丸広場(米子市宮湊山球場)		
予定				1,000	0	0
結果				2,037	0	-
スマートフォン教室 (株式会社中海テレビ放送と連携)	スマートフォン教室 (株式会社中海テレビ放送と連携)	10/29(火) 11/26(火) 3/24(火)	株式会社中海テレビ放送と連携して、スマートフォン教室を開催し、スマートフォンの安全な使い方などの初歩を学んでいただいた。今年はじめて「LINE」講座も開講した。			
			予定	32	0	0
			結果	-	0	0

**平成30年度事業報告
及び5年間の運営状況の推移**

平成30年度 米子市公会堂事業報告書

1 施設利用状況

室名		30年度計(a)	29年度計(b)	増減(a)-(b)	前年度比
		開館日数(日)	359	359	0
大ホール	利用日数(日)	212	169	43	125.4%
	利用件数(件)	232	188	44	123.4%
	利用人数(人)	73,946	60,876	13,070	121.5%
	使用料(円)	11,537,738	10,790,859	746,879	106.9%
ホワイエ	利用日数(日)	226	237	△ 11	95.4%
	利用件数(件)	395	494	△ 99	80.0%
	利用人数(人)	4,564	5,582	△ 1,018	81.8%
	使用料(円)	321,000	501,830	△ 180,830	64.0%
リハーサル室	利用日数(日)	163	171	△ 8	95.3%
	利用件数(件)	180	208	△ 28	86.5%
	利用人数(人)	4,932	6,369	△ 1,437	77.4%
	使用料(円)	344,828	405,173	△ 60,345	85.1%
集会室 (公民館使用含む)	利用日数(日)	356	358	△ 2	99.4%
	利用件数(件)	2,988	3,099	△ 111	96.4%
	利用人数(人)	40,848	38,680	2,168	105.6%
	使用料(円)	4,243,170	4,717,240	△ 474,070	90.0%
和室	利用日数(日)	247	236	11	104.7%
	利用件数(件)	314	290	24	108.3%
	利用人数(人)	3,317	3,565	△ 248	93.0%
	使用料(円)	676,850	677,690	△ 840	99.9%
前庭	利用日数(日)	163	149	14	109.4%
	利用件数(件)	180	176	4	102.3%
	利用人数(人)	23,094	30,135	△ 7,041	76.6%
	使用料(円)	5,260	8,800	△ 3,540	59.8%
食堂	使用料(円)	437,400	437,400	0	100.0%
合計	利用件数(件)	4,289	4,455	△ 166	96.3%
	利用人数(人)	150,701	145,207	5,494	103.8%
	使用料(円)	17,566,246	17,538,992	27,254	100.2%



2 主催事業実施状況

区分	事業名	開催日	内容			
			年度:(人)	入場(参加)者数	収入額(円)	支出額(円)
鑑賞事業	公会堂 虹のひろば (虹のひろば実行委員会共催)	①4/23(月)夜	132	ホワイエコンサートを実施。地元を中心に活動しているアーティストによる演奏を気軽に楽しんでもらう。今年度は、地元出身の若き音楽家の発表の場「おさらい会」と共催で、大ホールでも開催した。 会場:ホワイエ(②は大ホール) 入場料:一般500円(②は一般700円、高校生以下300円)		
		②8/26(日)昼	488			
		③11/15(木)昼	171			
		④3/25(月)昼	118			
			30年度			
		29年度	1,185	1,225,700	1,234,769	
	米子市公会堂開館60周年記念 大阪交響楽団オペラコンサート ～山本耕平・佐田山千恵を迎えて～ (鳥取県文化振興財団・BSS山陰放送共催)	7/15(日)	1,045	公会堂開館60周年記念として、大阪交響楽団によるオペラコンサートを開催。ソリストは地元出身の山本耕平、佐田山千恵の両名。オペラを聴く機会の少ない市民に良質な演奏を聴いていただき、広く音楽文化に興味関心を持ってもらう機会とした。 会場:大ホール 入場料:一般4,000円 高校生以下2,000円		
		30年度	1,045	5,934,000	6,152,389	
		29年度	-	-	-	
	風間杜夫ひとり芝居「ピース」 (鳥取県文化振興財団共催)	8/19(日)	515	鳥取県文化振興財団と共催で舞台・映画・テレビなどで活躍する俳優、風間杜夫による公演を実施。市民へ演劇公演の鑑賞の機会を提供し、演劇愛好者の拡大を図った。 会場:大ホール 入場料:一般5,000円 高校生・大学生2,000円 中学生・小学生1,000円		
		30年度	515	-	-	
		29年度	-	-	-	
	米子なつかしの名画劇場	9/1(土)	349	文化庁所蔵の懐かしい名画を大スクリーンで鑑賞する機会を市民に提供し、日本映画の良さを認識してもらう。本年度は女優シリーズを上映した。 会場:大ホール 入場料:一般500円 高校生以下100円 ペア券800円		
		30年度	349	169,700	255,260	
	29年度	271	156,500	245,893		
米子市公会堂開館60周年記念 ブラック・ボトム・ブラス・バンド 25周年コンサート わっしょい米子まつり (鳥取県文化振興財団・BSS山陰放送共催)	10/28(日)	470	公会堂開館60周年記念として、米子出身のメンバーを擁する、ブラック・ボトム・ブラス・バンドのコンサートを、地元で活動する3団体をゲストに招き開催。地元音楽文化の活性化に努めた。 会場:大ホール 入場料:一般3,000円 高校生以下1,000円			
	30年度	470	-	-		
	29年度	-	-	-		
米子市公会堂開館60周年記念 ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート (鳥取県文化振興財団共催)	1/6(日)	869	公会堂開館60周年記念として、鳥取県文化振興財団と共催でアンサンブル・コンサートを開催。ウィーン・フィルの名手たち9人がニューイヤーを彩る極上の演奏を披露した。 会場:大ホール 入場料:S席7,500円 A席6,000円 高校生・大学生2,000円 小学生・中学生1,000円			
	30年度	869	-	-		
	29年度	-	-	-		

区分	事業名	開催日	内容			
			年度:(人)	入場(参加)者数	収入額(円)	支出額(円)
参加型事業	市民交流事業					
	米子市公会堂60周年記念式典	①5/18(金)	300			
	春の文化祭	②5/19(土)、20(日)	500			
	七夕まつり	③7/13(金)	200			
	モーニングカフェ	④7/28(土)	60			
	わらべ館おもちゃ教室	⑤7/29(日)	60			
	米子盆踊り大会	⑥8/14(火)	650			
	夏まつり	⑦8/18(土)	800			
	ミュージック・ハロウィン・ストリート	⑧10/27(土)	300			
	マチナカクリスタル点灯式	⑨12/7(金)	250			
	米子市公会堂開館60周年記念 Piano Piano コンサート	⑩3/2(土)	701			
			30年度	3,821	1,652,950	1,878,619
		29年度	2,520	1,010,138	1,098,705	
米子市公会堂開館60周年記念 NHK 新・BS日本のうた	5/31(木)	937				
		30年度	937	—	—	
(米子市共催)		29年度	872	—	—	
教育普及事業	米子高専連携事業 「リサイクル工作で インテリア雑貨を作ろう」	8/4(土)	30			
			30年度	30	—	—
	(米子高専共催)		29年度	12	—	—
	Feelおでかけ事業 「体感しよう!JAZZの世界」	10/25(木)	800			
			30年度	800	—	50,000
			29年度	300	—	50,972
	財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	11/10(土)	[1,996]			
		30年度	[1,996]	—	—	
		29年度	[1,081]	—	—	
30年度事業 合計			9,745	8,442,950	9,644,959	

収支差額がマイナスとなる事業は、積立金取崩金から補てん
30年度事業 合計欄の入場(参加)者数及び支出額は、[]を除く

3 特記事項

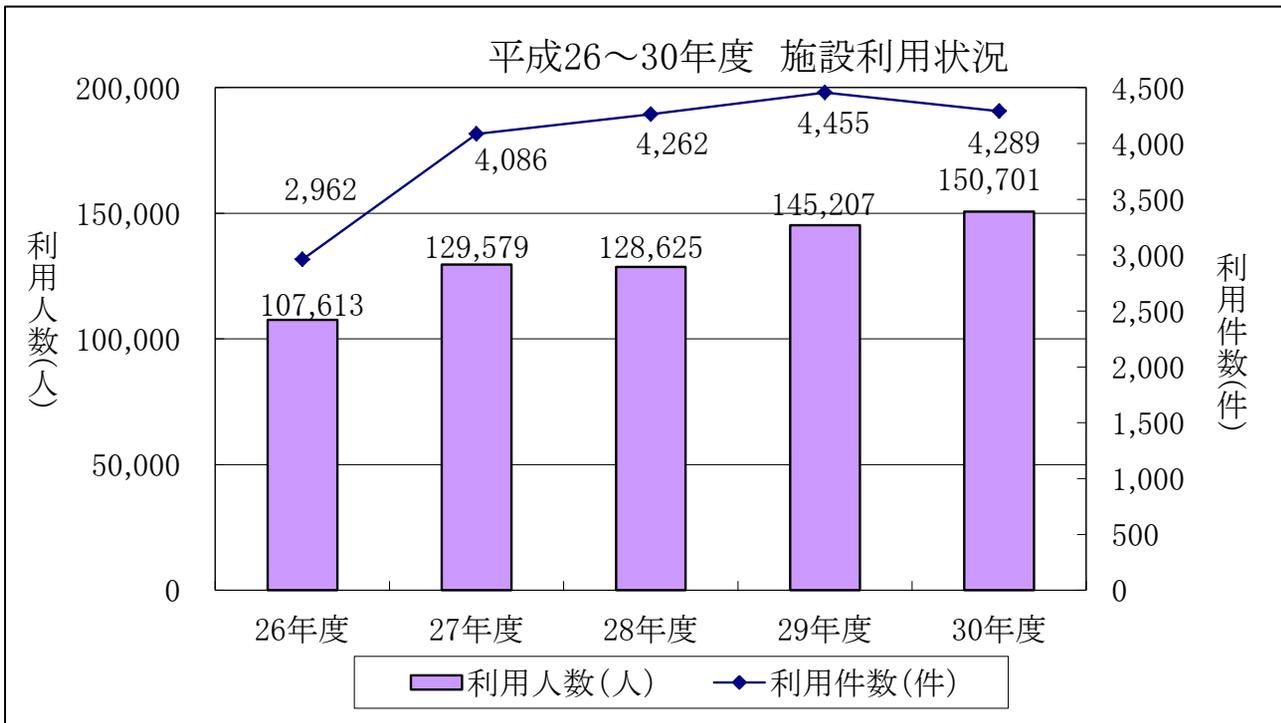
(1) 施設管理の充実

- ・除雪機や舞台・ホワイエ用の椅子、ステージ用LED照明などを購入し、施設備品の充実を図った。
- ・館内の壁の色塗りや襖の修理、点字ブロックの補修など小修繕をできる限り職員で行いコスト削減に努めた。
- ・大ホールや事務室の場所、ホワイエのトイレ位置が分かりにくいいため、看板を設置した。
- ・ホワイエの電源増設を行い、これまで不便であったホワイエでの電気機器の利用を容易にした。
- ・ホワイエの吊り下げ照明や事務室前照明をLED化し、コスト削減を図った。

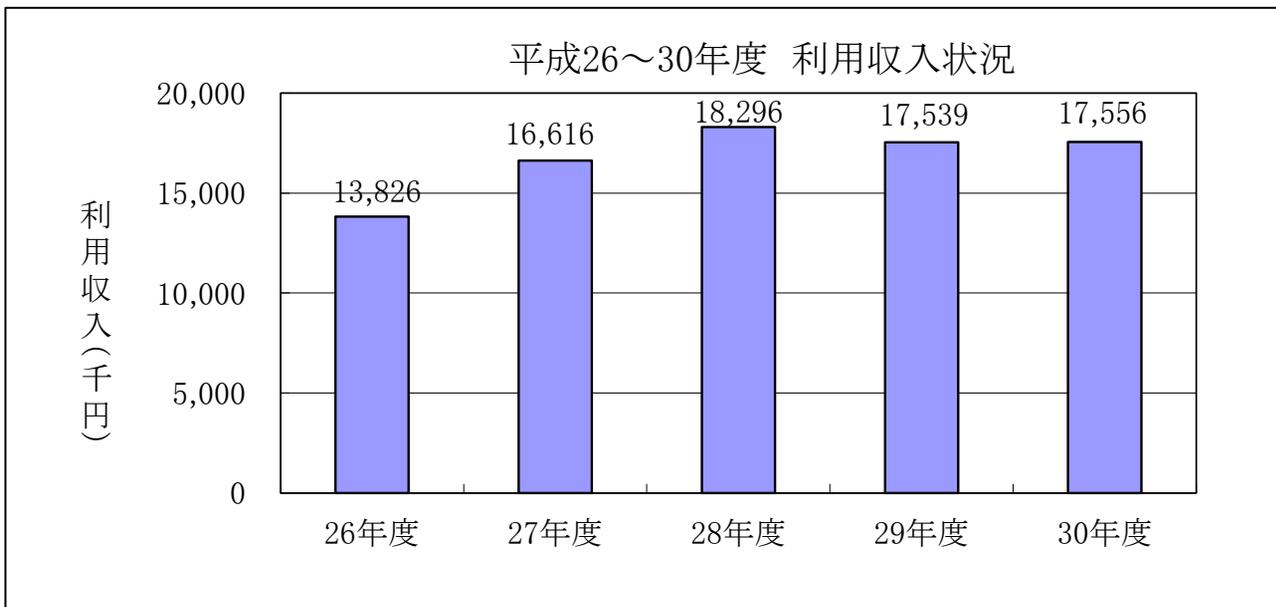
(2) 利用者サービスの向上

- ・近隣駐車場の公会堂利用者への駐車料金1時間無料サービスの周知を図り、お客さまの利便性の向上に努めた。
- ・大規模ホールでは県内初となる防災コンサートを、鳥取県米子警察署協力、市内小学校参加で開催し、お客さまが安全・安心に利用いただける施設の提供に努めた。
- ・公会堂開館60周年記念として、記念式典をはじめ、地元出身演奏家によるオペラコンサートやジャズコンサート、ピアノをテーマにしたコンサートなど数多くの記念事業を開催し、大勢の市民に楽しんでもらうとともに公会堂について広く周知した。
- ・市民交流事業として、様々な団体と連携して事業を行い、賑わい創出や中心市街地活性化に協力した。

平成26～30年度 米子市公会堂運営状況



	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用人数(人)	107,613	129,579	128,625	145,207	150,701
利用件数(件)	2,962	4,086	4,262	4,455	4,289

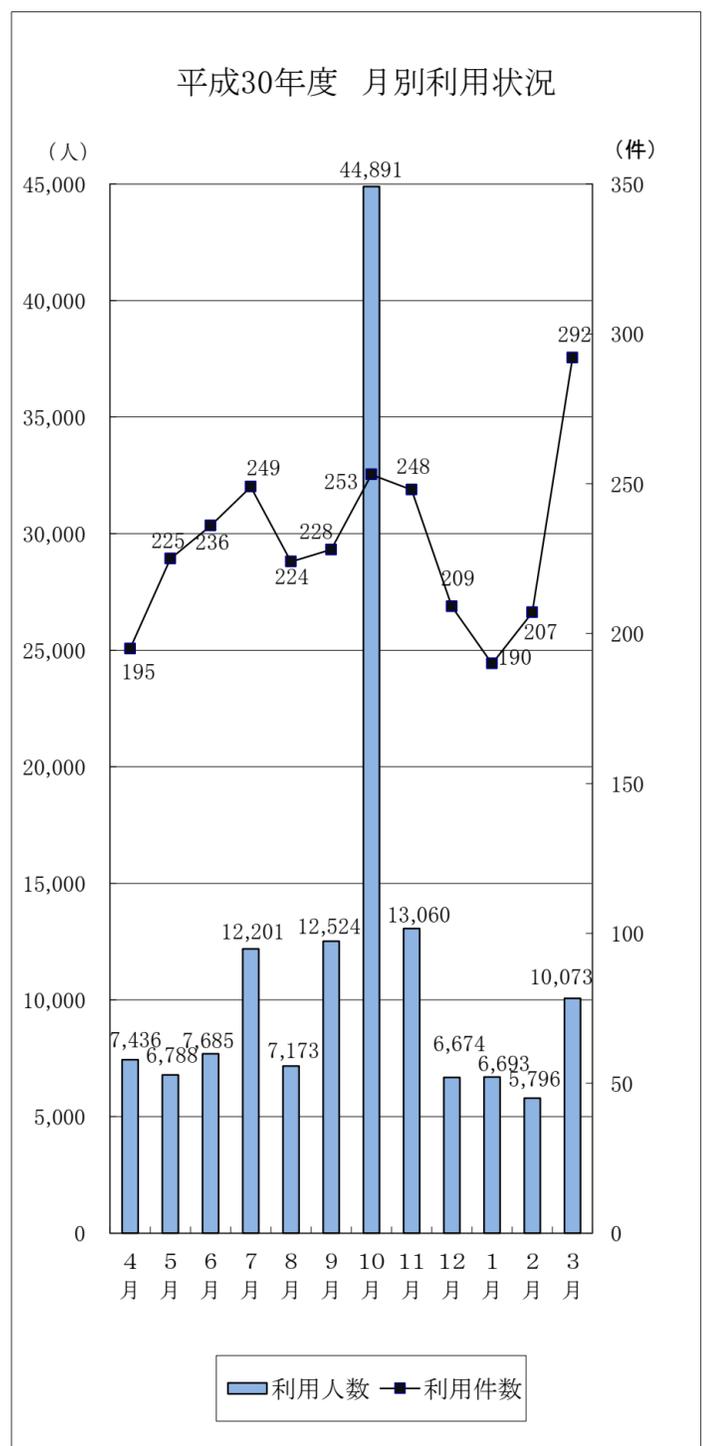
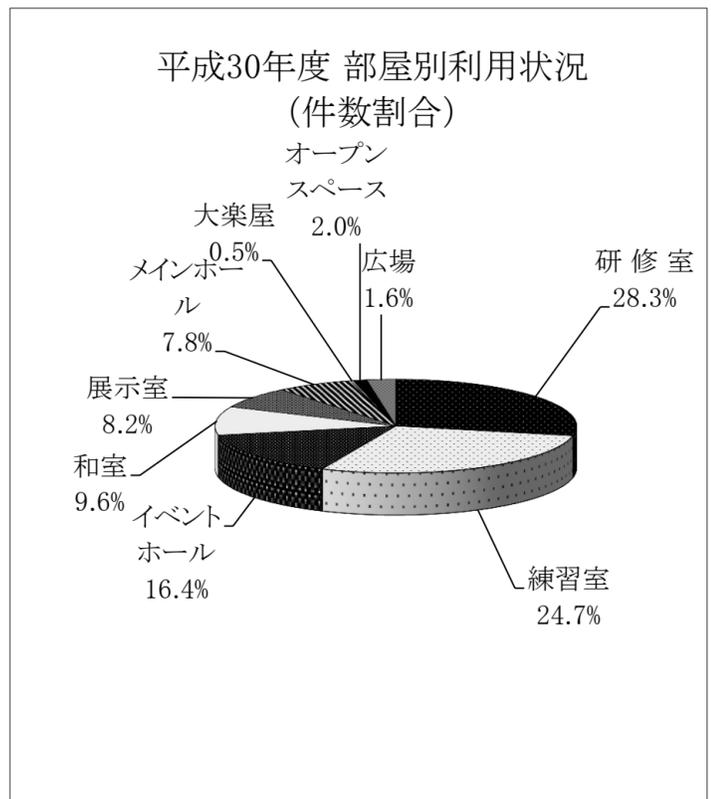


	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用収入(円)	13,826,382	16,616,203	18,295,917	17,538,992	17,556,246

平成30年度 米子市文化ホール事業報告書

1 施設利用状況

室名		30年度計(a)	29年度計(b)	増減(a)-(b)	前年度比
		開館日数(日)	313	309	4
メインホール	利用日数(日)	192	192	0	100.0%
	利用件数(件)	204	203	1	100.5%
	利用人数(人)	49,015	49,753	△ 738	98.5%
	使用料(円)	11,383,902	11,468,638	△ 84,736	99.3%
大楽屋	利用日数(日)	7	12	△ 5	58.3%
	利用件数(件)	7	12	△ 5	58.3%
	利用人数(人)	94	138	△ 44	68.1%
	使用料(円)	15,170	16,120	△ 950	94.1%
イベントホール	利用日数(日)	279	268	11	104.1%
	利用件数(件)	420	426	△ 6	98.6%
	利用人数(人)	23,430	16,595	6,835	141.2%
	使用料(円)	3,912,640	3,694,640	218,000	105.9%
展示室	利用日数(日)	172	189	△ 17	91.0%
	利用件数(件)	189	213	△ 24	88.7%
	利用人数(人)	7,064	7,477	△ 413	94.5%
	使用料(円)	1,384,690	1,687,520	△ 302,830	82.1%
和室	利用日数(日)	207	206	1	100.5%
	利用件数(件)	271	248	23	109.3%
	利用人数(人)	2,772	2,894	△ 122	95.8%
	使用料(円)	891,980	851,110	40,870	104.8%
研修室	利用日数(日)	302	296	6	102.0%
	利用件数(件)	781	759	22	102.9%
	利用人数(人)	11,338	11,202	136	101.2%
	使用料(円)	1,739,600	1,723,470	16,130	100.9%
練習室	利用日数(日)	304	290	14	104.8%
	利用件数(件)	780	642	138	121.5%
	利用人数(人)	5,475	4,622	853	118.5%
	使用料(円)	951,680	810,700	140,980	117.4%
オープンスペース	利用日数(日)	33	47	△ 14	70.2%
	利用件数(件)	33	51	△ 18	64.7%
	利用人数(人)	21,326	13,565	7,761	157.2%
	使用料(円)	19,960	17,490	2,470	114.1%
多目的広場	利用日数(日)	67	40	27	167.5%
	利用件数(件)	71	42	29	169.0%
	利用人数(人)	20,480	7,155	13,325	286.2%
	使用料(円)	4,820	1,550	3,270	311.0%
合計	利用件数(件)	2,756	2,596	160	106.2%
	利用人数(人)	140,994	113,401	27,593	124.3%
	使用料(円)	20,304,442	20,271,238	33,204	100.2%



*2/13(水)～3/14(木)は自動火災報知設備改修工事及び吊天井調査、照明・音響設備改修工事のため使用停止(メインホール、大楽屋)

2 主催事業実施状況

区分	事業名	開催日	内容				
			年度:(人)	入場(参加)者数	収入額(円)	支出額(円)	
鑑賞事業	連携事業 米子歴史絵巻 「新田人形浄瑠璃芝居相生文楽」 (米子市立山陰歴史館共催)	12/1(土)	今回で第7回目。米子市立山陰歴史館と共催で歴史的遺産を活用した事業「新田人形浄瑠璃芝居相生文楽」を解説を交え実施した。 会場:米子市立山陰歴史館 入場料:無料				
		30年度	132	-	125,198		
		29年度	370	-	24,592		
	こころの劇場 劇団四季ミュージカル 「魔法をすてたマジヨリン」 (米子市教育委員会共催)	7/18(水)	米子市内の小学校6年生を対象に(財)舞台芸術センターが“こころの劇場”として全国公演をしている劇団四季ミュージカル「ガンバの大冒険」公演を米子市教育委員会と共催で実施した。 会場:メインホール 入場料:無料				
		30年度	1,175	-	-		
		29年度	1,154	-	-		
鑑賞事業	連携事業 日生劇場がお届けする 児童・青少年向け鑑賞教室 「エリサと白鳥の王子たち」 (米子市教育委員会共催)	2/12(火)	米子市内の小学校3年生を対象に(公財)ニッセイ文化振興財団が全国公演をしているニッセイ名作シリーズ「エリサと白鳥の王子たち」公演を米子市教育委員会と共催で実施した。 会場:メインホール 入場料:無料				
		30年度	913	-	-		
		29年度	-	-	-		
	参加型事業	第60回米子市音楽祭 & メモリアルコンサート		地元の音楽団体による演奏会をジャンル別に開催し、演奏レベルの向上と音楽活動の普及を図った。特に、60回記念として「メモリアルコンサート」を実施、米子市出身のピアニスト松本哲平氏らをゲストに招き、米子市近郊で音楽活動をおこなっているアーティストの共演の機会を作るとともに音楽を通じて地域文化の向上に努めた。あわせて松本哲平氏に作詩・作曲いただいた「心の色を音にのせ(米子市音楽祭の歌)」を全てのジャンルのコンサートで編曲し演奏することで、広く市民に曲を知っていただくきっかけとなった。 入場料:メモリアルコンサート 一般1000円 入場料:4コンサート共通券 一般500円 高校生以下無料			
			6/3(日)	アコースティック 450人 会場:米子市文化ホールメインホール (出演団体/11)			
			6/9(土)	ジャズ 523人 会場:米子市文化ホールメインホール (出演団体/10)			
6/17(日)			合唱 1062人 会場:米子市公会堂大ホール (出演団体/14)				
6/23(土)			フリージャンル(アカペラ・バンド) 266人 会場:米子市淀江文化センター大ホール(出演団体/14)				
6/24(日)			フリージャンル(その他) 578人 会場:米子市淀江文化センター大ホール(出演団体/17)				
7/1(日)			メモリアルコンサート「心の色を音に乗せ」 970人 会場:米子市公会堂大ホール				
			30年度	3,849	2,948,500	3,151,739	
			29年度	2,576	1,590,500	1,497,621	
参加型事業			童謡講座		市民へ童謡の普及を図るため、参加者が講師と一緒に歌う童謡講座を実施した。		
	月曜コース(懐かしい童謡)	主に毎月第2月曜日/11回	申込者数 379人 延3,116人 参加費 1,000円				
	木曜コース(新しい童謡)	主に毎月第4木曜日/11回	申込者数 69人 延784人 参加費 1,000円				
	チャイルドコース	主に毎月第4木曜日 /11回	幼児99人、大人147人 延246人 無料				
	わらべ館コンサート	9/10(月)	わらべ館との連携講座、参加者数(313人)は月曜コースに含む。				
	童謡特別講座	3/16(日)	入場者511人「みんなの童謡コンサート」と題し、コンサート形式で実施。 入場無料				
			会場:(月曜・特別講座)メインホール (木曜・チャイルド)イベントホール				
		30年度	4,797	497,200	872,432		
	29年度	4,678	489,200	991,637			

参加型事業	ダンス・フェス1ver.10	2/9(土) 2/10(日)	ダンス・踊りの発表の場を提供するとともに、出演団体同士の相互交流を図った。 会場:米子市公会堂(出演:78団体+特別編成) 出演者数:821人、入場者2/9 751人、2/10 817人 参加費:2,000円 入場料:各日1,000円	30年度	1,568	1,671,110	2,045,088
				29年度	1,234	1,282,000	1,209,187
	市民交流事業		多目的広場を活用して市民が集い、憩える場所を提供した。				
	米子市文化ホールの 舞台裏をのぞいてみよう!	8/8(水)	毎年、米子市文化財団が小学校の夏休み期間に小学生を対象に実施していた体験事業を、米子市文化ホールの自主事業として継続した。 夏休みの子どもたちを対象に実施し、米子市文化ホールの仕事を知ってもらう機会とし、興味をもってもらおう機会とした。 (Aコース 16人 Bコース 15人) 入場料:無料				
	ネギ来ステージ inスワンひろば・ネギ来スイーツ通り	10/20(土) 10/21(日)	多目的広場とオープンスペースを活用して、「農と食のフェスタinせいぶ実行委員会」と連携し、多目的広場で地元の名物料理などを販売する「せいぶの農と食のまつり」や「ステージイベント」をオープンスペースで「スイーツ通り」を開催した。同日に米子コンベンションセンターで「JAふれあいまつり」「米フェスタ」、米子駅前「ネギ来まつり&米子駅まつり」が開催され、米子駅前周辺の回遊性創出に向けた事業が展開でき、地域の活性化を図ることに繋がった。新たにメイン及びイベントホールでの催しも加え実施した。 (10/20 5600人、10/21 6400人) 入場料:無料				
	Yonagoファンタジア点灯式 (共催:一般社団法人鳥取県電業協会西部支部)	12/2(土)	多目的広場にイルミネーションを設置し、市民が憩える場を提供した。鳥取県立米子東高等学校合唱部(20名)、翔英学園米子北斗中学校・高等学校音楽部(23名)の合唱により開幕した。(243人)他出演者43人 入場料:無料				
「中井精也のてつたび」 ファンミーティング@米子 (共催:NHK鳥取放送局)	2/9(土)	NHK BSプレミアムの鉄道番組「中井精也のてつたび」で山陰本線を紹介するのにあわせて、トークショーと写真撮影のワンポイントレッスンをNHK鳥取放送局と共催でイベントホールを会場に実施した。(130人) 参加費:無料					
アートプロジェクトin スワン広場	3/2(土) ~3/30(土)	鳥取県立米子高等学校美術部の生徒に米子市文化ホールの多目的広場(水鳥広場)内に設置してある花壇13か所を“文化芸術・白鳥・大山・日野川”などをテーマにデザイン・装飾していただき、地域住民や利用者をはじめ通行人の憩いやふれあいの空間とし、多目的広場の利用拡大に努めた。 (参加者数延べ115人/20回実施)	30年度	12,404	—	768,111	
			29年度	4,219	—	144,206	
教育普及事業	鷺見三郎顕彰事業 第26回 米子ユースオーケストラ演奏会	3/31(日)	学校や音楽教室の枠を越えた青少年管弦楽演奏者を育成し、音楽文化振興に努めた。年間を通じた練習活動を実施し、年1回発表会を行った。(504人) 演奏者数:米子ユースオーケストラ56人 ジュニアストリングス10人 会場:メインホール 入場料:無料(整理券発行)	30年度	504	33,750	1,441,220
				29年度	470	6,375	1,860,459
	Feelおでかけ事業 まちジャズ	8/18(土)	える・もーる商店街アーケードを会場に、中心市街地のにぎわい創出に向け、米子市公会堂の「夏祭り」と同日開催した。今回も米子JAZZフェスティバル実行委員会と連携することで「まちジャズ」終演後も引続き近隣のカフェ2店舗で気軽にジャズを楽しんでいただける企画とし、米子のまちなかをジャズの演奏でにぎわせた。(335人出演者32人)				
	いきいきケアホーム旗ヶ崎 童謡コンサート	9/14(金)	日頃、ホール等に足を運ぶ機会の少ない高齢者の方々に参加型の童謡コンサートを実施した。今回は介護付有料老人ホームの敬老会のアトラクションとして招かれ、よなご童謡の会の古瀬先生、星野先生による「童謡コンサート」を実施した。(73人) 出張料:無料	30年度	408	—	71,233
			29年度	367	—	75,055	

情報提供事業	通年	文化ホール、公会堂、淀江文化センターの利用促進や事業告知をするためにホームページ等の更新を随時行った。新たに文化ホールのフェイスブックを立ち上げた。3館の施設イベント案内情報誌Feelを毎月発行し、友の会会員等に配布した。 数:月3,000部 会員数:155人			
		30年度	—	177,020	439,980
		29年度	—	187,120	444,488
財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	11/10(土)	(米子市営湊山球場)を会場に施設ごとの特色あるワークショップ等の事業を体験してもらい、文化活動のに対する関心の向上につなげることが出来た。(事業内容:昔遊び、石垣つみ体験、楽器作り、石のかけらでペンダント作りや屋台コーナー、図書館車、ふわふわドームコーナー)今年は「米子城フェスタ」と同時開催した。 文化ホール等ホール系3館は楽器作り体験コーナーを実施した。(参加者300名)			
		30年度	[1,996]	—	—
		29年度	[1,081]	—	—
30年度事業 合計		25,750	5,327,580	8,915,001	

収支差額がマイナスとなる事業は、積立金取崩金から補てん
30年度事業 合計欄の入場(参加)者数は、[]の人数を除く

3 特記事項

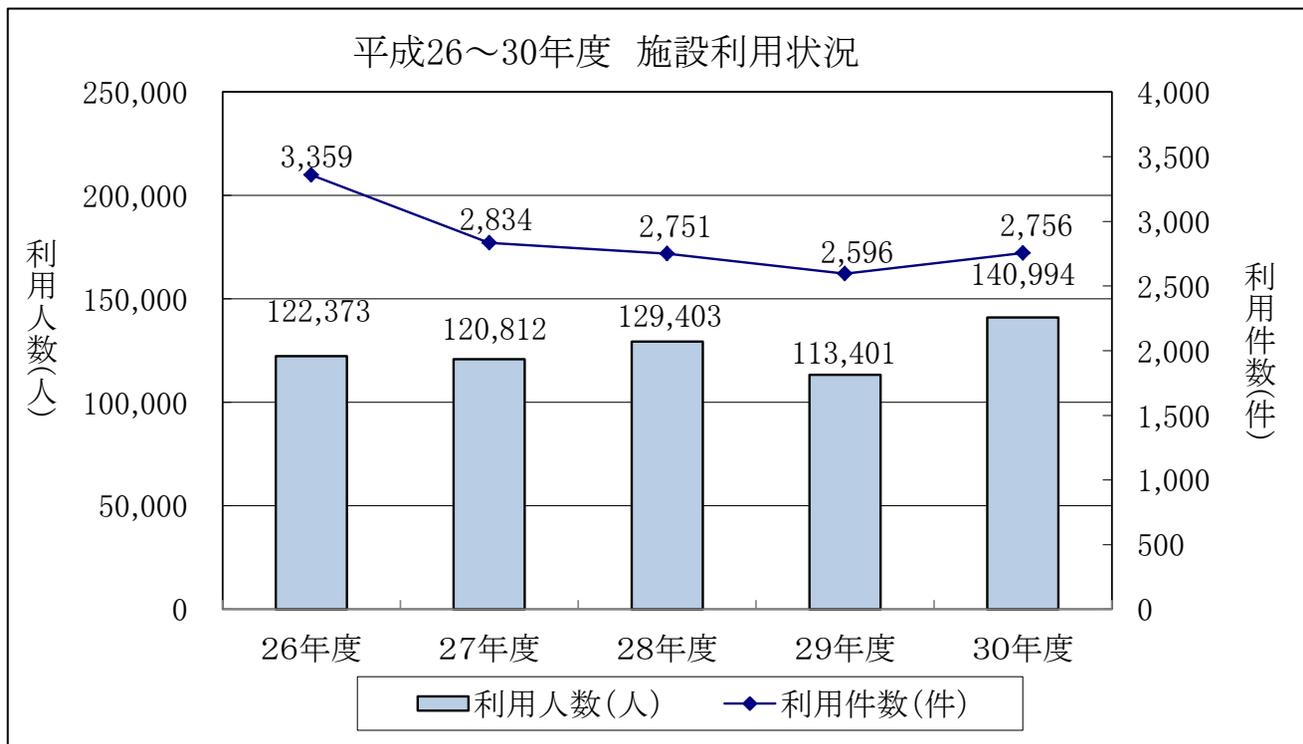
(1) 施設管理の充実

- ・建物や設備品が経年劣化しており、不具合が生じないよう館内外の巡回点検を引き続き強化した。
- ・メインホール前室カーペットを張替えし、利用に支障がないよう修繕した。
- ・イベントホール及び展示室のイスや長机の溶接修理を行った。
- ・メインホール照明設備改修工事を行い、漏電対策を行った。
- ・引き続き、施設周辺・歩道等のごみ拾いや除草・剪定を行うとともに、米子高校から寄贈を受けた花苗を生徒たちと一緒に多目的広場のプランターへ植栽するなど周囲の環境整備に努めた。

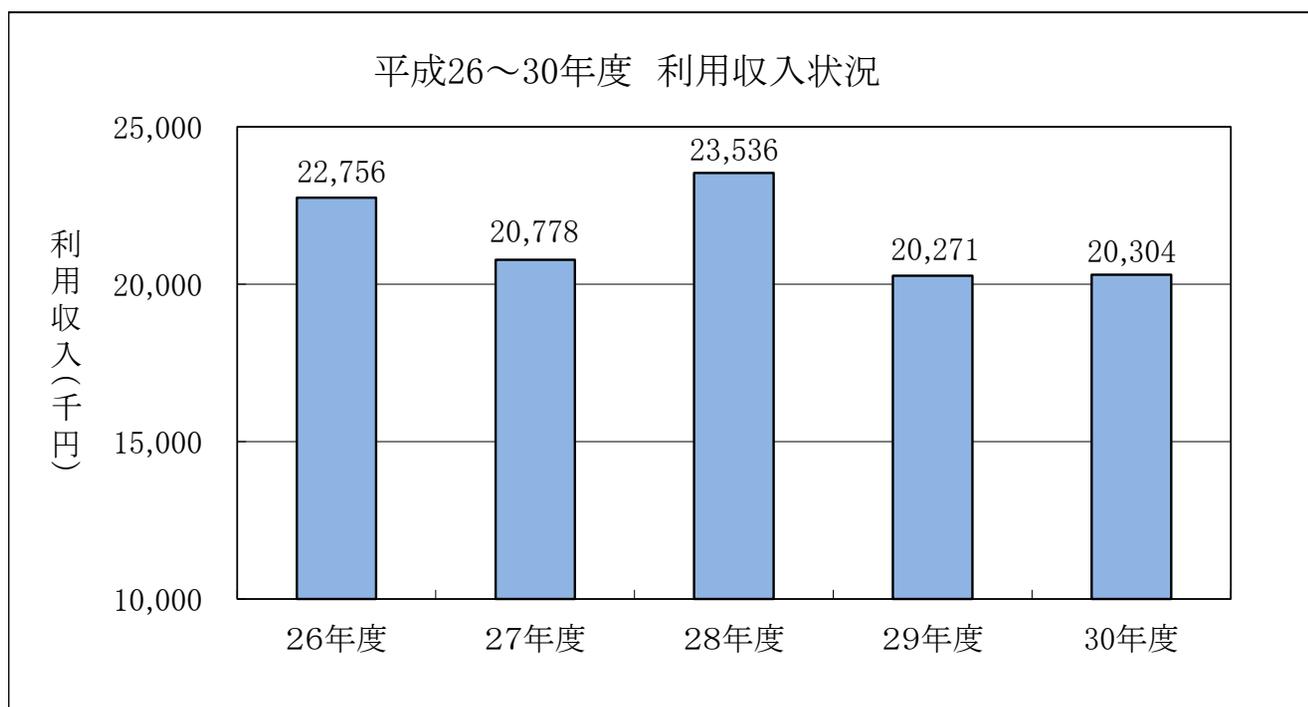
(2) 利用者サービスの向上

- ・市民交流事業では米子市観光協会が取りまとめる「農と食のフェスタinせいぶ」に参画した。多目的広場はステージでの発表、オープンスペースはスイーツ通りを開催した。新たにメインホール及びイベントホールでの催しも加え、多くの来場者を集め米子駅前周辺の活性化に繋げた。
- ・鳥取県立米子高等学校美術部の生徒に米子市文化ホールの多目的広場(水鳥広場)内に設置してある花壇13ヶ所を“文化芸術・白鳥・大山・日野川”などをテーマにデザイン・装飾していただき、地域住民や利用者をはじめ通行人の憩いやふれあいの空間とし、多目的広場の利用拡大に努めた。
- ・貸館業務では更なる利用者サービスの向上を目指し、受付案内をより迅速に行えるようにするため、引き続き臨時職員を1人増員し、接客対応の充実を図った。
- ・利用促進を図るために、ホームページは適宜イベント(催し)やホール等の空き情報を更新し、フェイスブックでは自主事業の様子を動画投稿するなど情報発信した。また、館内情報コーナーでは、より分かり易いポスター掲示とチラシ設置に努め、利用者から求められる情報を速やかに提供した。

平成26～30年度 米子市文化ホール運営状況



	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用人数(人)	122,373	120,812	129,403	113,401	140,994
利用件数(件)	3,359	2,834	2,751	2,596	2,756

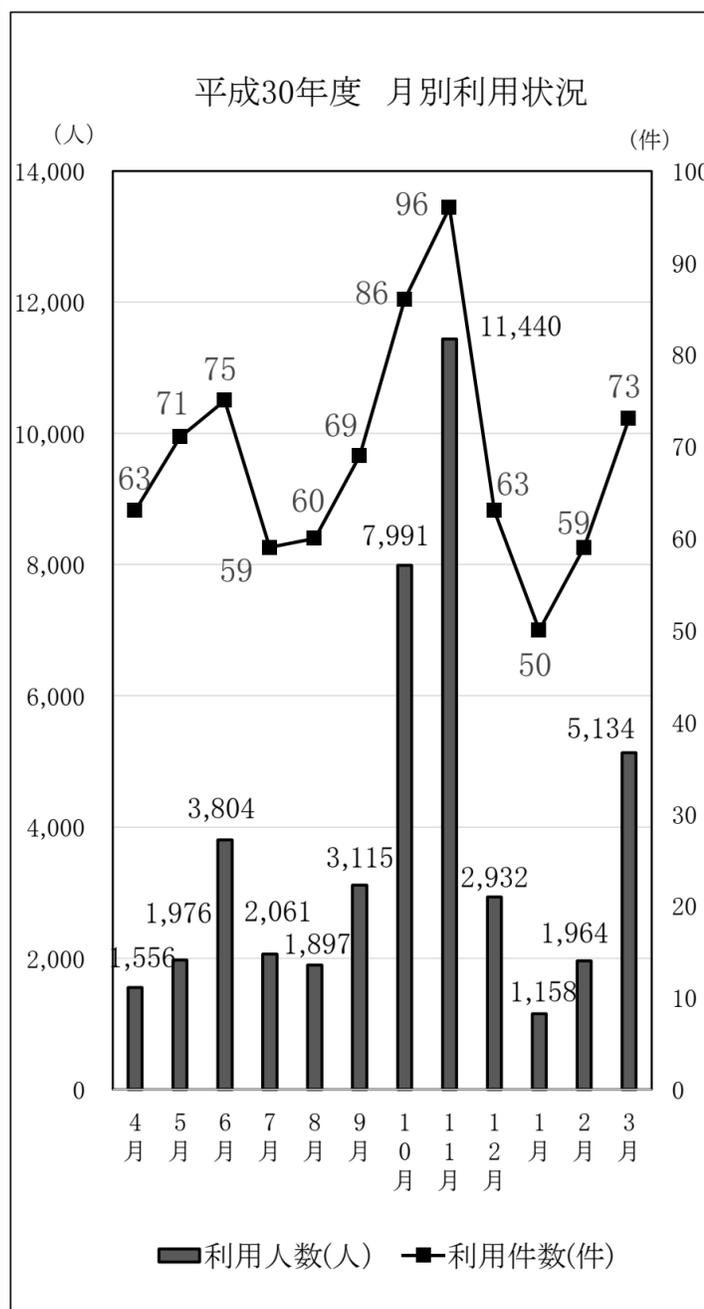
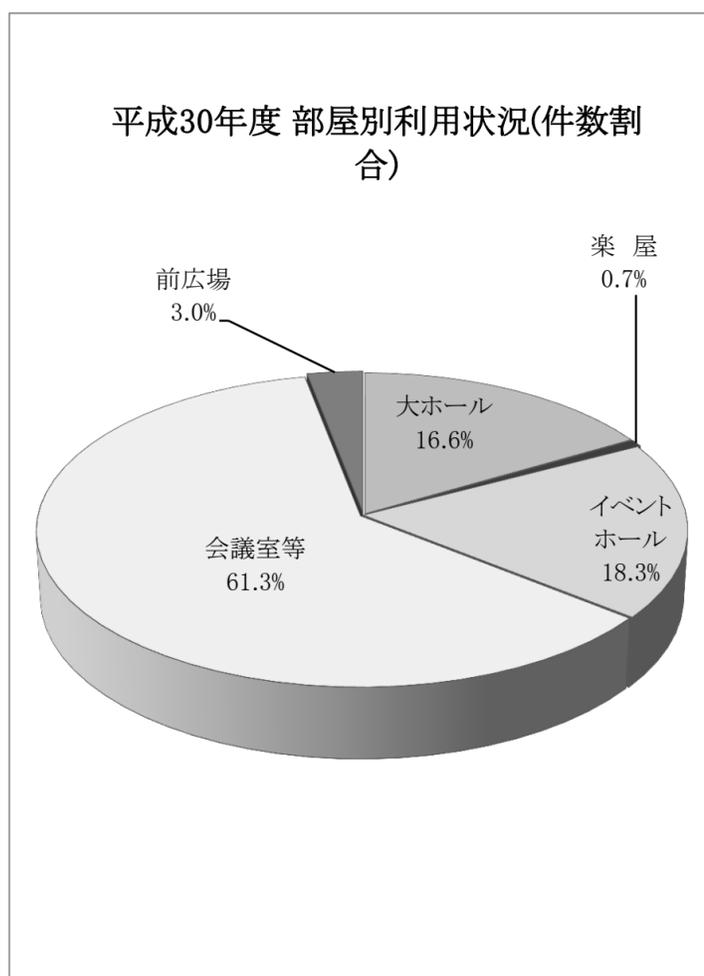


	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用収入(円)	22,755,508	20,777,642	23,535,586	20,271,238	20,304,402

平成30年度 米子市淀江文化センター事業報告書

1 施設利用状況

室名		30年度計(a)	29年度計(b)	増減(a)-(b)	前年度比
		開館日数(日)	308	308	0
大ホール	利用日数(日)	132	136	△ 4	97.1%
	利用件数(件)	137	144	△ 7	95.1%
	利用人数(人)	23,890	24,767	△ 877	96.5%
	使用料(円)	5,186,694	5,722,892	△ 536,198	90.6%
楽屋	利用日数(日)	6	5	1	120.0%
	利用件数(件)	6	5	1	120.0%
	利用人数(人)	0	0	0	-
	使用料(円)	12,960	9,340	3,620	138.8%
イベントホール	利用日数(日)	146	168	△ 22	86.9%
	利用件数(件)	151	186	△ 35	81.2%
	利用人数(人)	9,546	11,741	△ 2,195	81.3%
	使用料(円)	1,102,327	1,573,088	△ 470,761	70.1%
会議室等	利用日数(日)	266	244	22	109.0%
	利用件数(件)	505	456	49	110.7%
	利用人数(人)	7,247	7,274	△ 27	99.6%
	使用料(円)	1,029,020	958,840	70,180	107.3%
前広場	利用日数(日)	25	27	△ 2	92.6%
	利用件数(件)	25	27	△ 2	92.6%
	利用人数(人)	4,345	2,261	2,084	192.2%
合計	利用件数(件)	824	818	6	100.7%
	利用人数(人)	45,028	46,043	△ 1,015	97.8%
	使用料(円)	7,331,001	8,264,160	△ 933,159	88.7%



※楽屋等の空調設備改修工事のため、大ホールを1/15～1/31(1/25～27を除く)使用停止にした。

2 主催事業実施状況

区分	事業名	開催日	内容			
			年度(人)	入場(参加)者数	収入額(円)	支出額(円)
鑑賞事業	星空コンサート (音の絵本制作委員会、よなご星の会、さなめラララ♪すてーじ実行委員会、米子市児童文化センターと連携)	7/21(土)	今回で10回目を迎えた。従来のピアノとチェロの演奏者に加え、特別に合唱団優喜(鳥取市)を招聘し開催した。ホール内では、宮沢賢治原作の「双子の星」を楽器と合唱の生演奏に合わせ朗読で紹介した。また、天候に恵まれた屋外では天体望遠鏡で実際の星を観察していただいた。 会場:大ホール 入場料:一般500円、高校生以下300円、親子ペア700円(当日各100円増)、膝上未就学幼児無料			
		30年度	311	116,300	287,670	
		29年度	373	140,000	269,740	
	さなめラララ♪すてーじ (さなめラララ♪すてーじ実行委員会と共催)	4/6(金)	季節感を取り入れながら、地元で活躍しておられる音楽グループの発表の場を作るとともに、鑑賞型のミニコンサート「桜奏(ハルカナデ)」を開催した。(平成29年度は2回開催) 会場:ロビー 出演者:琴アンサンブル安田会Jr.、坂上達也・和佳子、輝空(teru-sora)、みわ 入場料:一般500円、高校生以下300円			
		30年度	131	64,400	54,587	
		29年度	225	109,100	109,850	
	ファミリーコンサート ～音楽のおもちゃ箱～ (特定非営利活動法人こども未来ネットワークと連携)	12/15(土)	Fantastic Four(坂上和佳子、佐々木まゆみ、渡邊芳恵、上萬雅洋)によりファミリー向けコンサートを1日2ステージ実施した。音楽鑑賞だけでなく、一緒に口ずさんだり鈴を鳴らして楽しんでいただいた。また、毎年恒例の木のおもちゃ体験コーナーなども大変好評であった。 会場:大ホール 入場料:大人500円、中学生以下300円(当日各200円増)			
		30年度	298	134,700	211,220	
		29年度	336	159,800	192,349	
	市民交流事業		地域の人たちの作品展示の場としてロビー等を提供し、地域活性化の一端を担った。 また、気軽にレコードを鑑賞できる場や落語を聞く機会を提供した。			
		①4/1(日) ～3/31(日)	3,462	さなめ木彫会作品展示		
		②4/28(土) ～5/7(月)	822	定点カメラでみつけた日吉神社に集まるどうぶつたち展		
③2/1(金) ～12(火)		762	「淀江の魅力再発見！フォトコンテスト2018写真展」(米子市淀江振興課共催)			
④4/10・5/8・6/12・7/10・8/7・9/11・10/9・11/13・12/11・1/8・2/12・3/12 (火)		662	ランチタイムレコード 平日の昼間にLPレコードを鑑賞できる場を提供した。1回平均55人の来場者があり、以前開催していたロビーでは会場が手狭になったため、イベントホールで開催した。 また、50回記念には蓄音機でSPレコードを聴く機会を提供し、多くの方にアナログレコードの良さを再認識していただくとともに、音楽を通じて文化向上に努めた。 会場:ロビー、イベントホール			

区分	事業名	開催日	内容			
			年度(人)	入場(参加)者数	収入額(円)	支出額(円)
鑑賞事業	市民交流事業	1/14(月・祝)	106	さなめ亭 新春寄席 気軽に落語を楽しんでいただける場を提供した。米子市在住の落語家と米子市児童文化センターの落語クラブ(わらべ家)の児童に出演してもらった。 会場:ロビー 出演:桂小文吾、わらべ家伊予太郎		
			30年度	5,814	43,800	134,021
		29年度	5,066	23,300	44,515	
	Feelおでかけ事業	3/22(金)		さなめ亭 寄席 in ル・サンテリオンよどえ ロビーで初めて開催した新春寄席が好評であったので、近隣の病院に出向き落語を楽しんでいただいた。 出演:桂小文吾、わらべ家一門(5名) 会場:米子東病院 大研修室		
		30年度	70	0	13,909	
		29年度	197	0	5,760	
参加型事業	こども夢広場 (よどえ夢まつり実行委員会と連携)	10/21(日)		第35回よどえ夢まつりに協賛して「おはなし広場」、「TOY POPとバルーンで遊ぼう!」、「紙芝居ヒーローになりたい!」、「ミニ四駆とカプラ(積み木)で遊ぼう!」などを実施した。 会場:イベントホール、ホワイエ、玄関前広場 入場料:無料		
			30年度	3,800	0	0
		29年度	2,644	0	0	
	利用促進事業 ～おためし練習利用～ 開放舞台。	9/15(土)・ 9/16(日)		ホールの利用促進に繋げるために、大ホールで反響板とベーゼンドルファープiano、イベントホールではヤマハピアノを低料金で利用いただいた。 会場:大ホール舞台、イベントホール		
		30年度	31	(20,530)	-	
		29年度	52	(20,040)	-	
教育普及事業	米子高専連携事業 夏休みこども体験教室 (米子高専・美術館と連携)	8/20(月)	16	夏休み工作教室「発泡材を切り抜いて動物のかたちをつくろう!」では、発泡スチロールカッターを使って様々な形の動物を作った。 (小学1年～3年生対象、保護者同伴) 会場:イベントホール 参加費:450円 連携:米子市美術館		
		8/20(月)	17	夏休み科学教室「電気でおどるクラゲを作ろう! 明るい光を出す簡単な電子回路(LED)を作ろう」では、実際には見ることのできない「電気」について実験を行った。 (小学4年～6年生対象) 会場:イベントホール 参加費:400円		
		30年度	33	-	0	
		29年度	53	-	0	

区分	事業名	開催日	内容			
			年度(人)	入場(参加)者数	収入額(円)	支出額(円)
教育普及事業	財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	11/10(土)	米子市文化財団が管理している施設が米子市営湊山球場に集い、施設ごとの特色あるワークショップ事業を体験してもらった。ホール系3館は『楽器作り体験』を実施した。 会場:米子城跡三の丸広場(米子市営湊山球場)			
			30年度	(1,996)	-	-
			29年度	(1,081)	-	-
	スマートフォン教室	4/24・ 8/28・ 10/23・ 12/18・ 2/26(火)	株式会社中海テレビ放送と連携して、スマートフォン教室を開催し、スマートフォンの安全な使い方などの初歩を学習してもらった。(平成29年度は2回開催) 参加費:無料			
			30年度	34	-	-
			29年度	14	-	-
30年度事業 合計			30年度	10,522	359,200	701,407

収支差額がマイナスとなる事業は、積立金取崩金から補てん
合計欄の参加者数、収入など()内を除く

3 特記事項

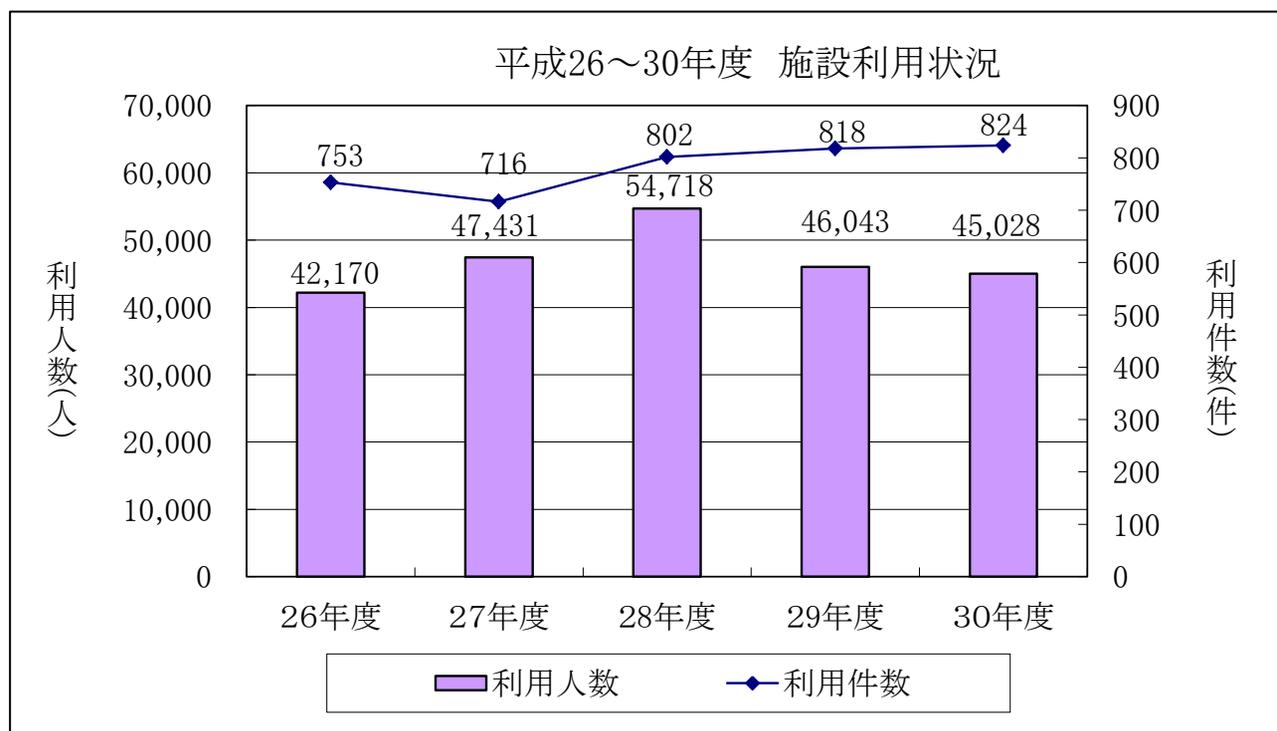
(1) 施設管理の充実

- ・建設から20年が経ち、設備や建物が経年劣化してきている。特に、ロビー1階の多目的トイレ内の壁面にカビが発生した。職員が地下ピットに入り点検したところ、天井面及び上水道管に多量の結露水がついていた。専門業者でも原因の特定は難しかった。
- ・職員が毎日館内外の巡回点検を行い、天井灯の電球等をこまめに交換したり、長机のキャスターのゆるみを点検し増し締めを行ったり、ホワイエのコンクリート床の修繕などを行った。
- ・利用者用駐車場の白線を職員が引き直した。また、従来白線が無かった所にも加筆し、駐車スペースを8台分常時確保した。
- ・来館者に気持ちよくご利用いただくため、こまめに施設周辺の除草・草刈り・樹木剪定などを行うとともに、季節に応じてチューリップ、水仙、ユリやパンジーなどのプランターを設置し、環境美化に努めた。
- ・会議室(1)の照明器具の一部をLED化し、経費削減に努めた。また、充電式のLED投光器4台を購入し、事業で使用するとともに災害時の非常用照明器具として常備した。
- ・館内の清掃回数を従来の週3回から4回に増やした。

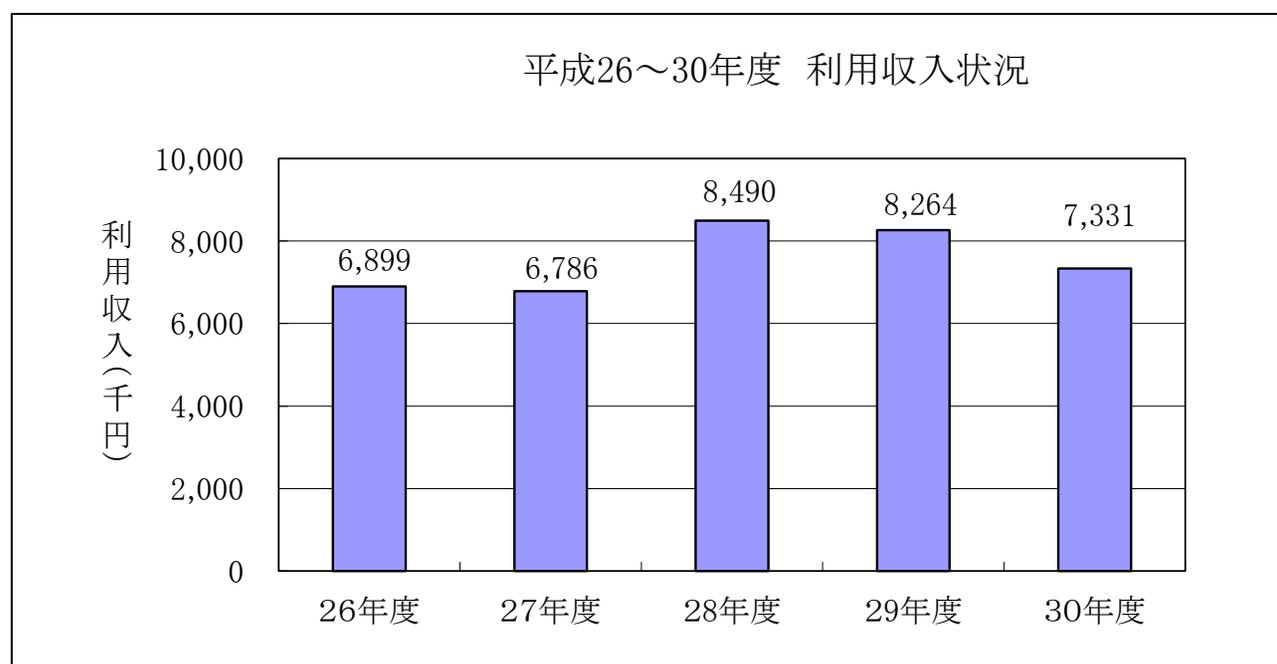
(2) 利用者サービスの向上

- ・ご要望が多かったイベントホールの室内照明について、場所により異なる照度の電球が使われていたものをすべて明るい電球に統一して従来より明るくした。
- ・財団事務局から液晶ビデオプロジェクター1台を預かり、2台体制で貸し出しを行った。
- ・地域住民の方と協力して開館20周年記念事業「はぐるま座」公演を行うとともに、新規に「さなめ亭 新春寄席」を行った。
- ・館内3カ所の多目的トイレ内に荷物置き用の棚と予備のトイレトペーパー置き用の棚を設置した。
- ・楽屋空調機器の更新に伴い楽屋通路への空調機を増設し、空調が可能となった。
- ・大ホールやイベントホールが時間単位で練習利用できるチラシを作成して宣伝をした。米子市内外のダンスグループや、吹奏楽、ピアノ練習など幅広く利用していただいた。
- ・ホームページ、Facebook、中海テレビ文字情報等を利用し、大ホールやイベントホールの空き状況やイベント情報を随時提供した。

平成26～30年度 米子市淀江文化センター運営状況



	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数(人)	42,170	47,431	54,718	46,043	45,028
利用件数(件)	753	716	802	818	824



	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用収入(円)	6,899,248	6,785,898	8,490,352	8,264,160	7,331,001

令和2年度自主事業計画（案）について

令和2年度 文化ホール系3館事業計画書

1 基本方針

- (1) 地域に根ざした芸術文化振興の拠点として安全で快適な施設づくり
- (2) 利用者の視点に立った対応による利用促進
- (3) 米子市、各種団体等又は当財団が管理・受託する施設との連携
- (4) 地元又は地元出身のアーティストの育成・支援
- (5) 市民が広く芸術文化に触れることができる機会の提供
- (6) 指定管理対象施設のそれぞれの特性や地域性を大切に事業展開

2 重点施策

(1) 芸術文化の鑑賞機会の提供

市民の皆様の文化活動に対する意識の高揚を図り、自主的な芸術文化活動の振興を図るため、地方では鑑賞機会の少ない優れた舞台芸術、音楽、講演会などの自主事業を開催し、優れた芸術文化を提供する。

- メイン事業 劇団あしぶえ「ゼロ弾きのゴーシュ」米子公演
- やのとあがつま(予定) ○日本舞踊家集団「弧の会」(予定)
- ファミリーコンサート ○米子歴史絵巻
- なつかしの名画劇場 ○星空コンサート
- 劇団四季ミュージカル ○演劇「願いのかなうぐつぐつカクテル」(予定)

(2) 市民の皆様との連携による自主事業の推進

自主事業の実行委員会や地域の芸術文化団体等との連携により、市民の皆様の声を活かした自主事業を積極的に推進し、一層の芸術文化の振興と育成を図る。

- 虹のひろば ○公開番組収録
- 米子市音楽祭 ○鷺見三郎顕彰事業
- 米子高専連携講座 ○ダンス・フェス1
- 童謡講座 ○さなめラララ♪すてーじ
- こども夢広場 ○開放舞台。
- 淀江ゆめ講演会 ○淀江魅力再発見！フォトコンテスト2020
- 当財団施設連携事業 ○(仮称)歴史講座

(3) 鑑賞・参加の機会提供

日頃ホールを利用される機会が少ない市民の皆様に、ホール以外の場所で鑑賞やワークショップに参加する機会を提供するとともに、市民の皆様の発表や交流の場としてロビーや広場を活用していただく。そして、広く鑑賞・参加していただけるよう情報提供に努める。

- 市民交流事業 ○Feelおでかけ事業
- 情報提供事業

(4) 利用者サービスの向上

公平公正を重視し、利用者の視点に立ったサービスにより市民福祉の充実を図る。アンケートなどによる市民の皆様のご意見を参考にしながら、サービスの向上に努めるとともに利用促進を図る。

令和2年度 自主事業計画 (案)
米子市公会堂

令和2年1月現在

区分	事業名	内容・入場料	開催日	備考	
鑑賞事業	虹のひろば (虹のひろば実行委員会共催)	ホワイエコンサートを実施して、地元を中心としたアーティストによる演奏を気軽に楽しんでもらう。2年度は30回記念として、地元出身のソリスト山本耕平による声楽コンサートを大ホールで開催する。 入場料：一般500円 (①S席3,500円、A席2,500円、高校生以下1,000円) 会場：ホワイエ (①大ホール) (1,100人)	①4/12(日) ②9月予定 ③1月予定	事業収入	2,160,000円
				支出	2,260,000円
				差額	△100,000円
	やのとあがつま JapanTour2020 (予定) (鳥取県文化振興財団・BSS山陰放送共催)	鳥取県文化振興財団と共催で、矢野顕子と上妻宏光(津軽三味線)のコンサートを開催。二人のジャンルを超えた共演で、新たなJAPANESE MUSICを届ける。 S席7,500円、A席6,000円、U18 2,000円 (1,050人)	5/15(金)	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	米子なつかしの 名画劇場 (米子シネマクラブ協力)	文化庁所蔵の懐かしい名画を大スクリーンで鑑賞する機会を市民に提供し、映画の良さを認識してもらう。 前売500円(ペア券800円) 高校生以下、Feel会員等割引あり (400人)	9月予定	事業収入	200,000円
				支出	300,000円
				差額	△100,000円
	日本舞踊家集団 「弧の会」 コノカイズム (予定) (鳥取県文化振興財団共催)	鳥取県文化振興財団と共催で、日本舞踊公演を開催。男性舞踊家たちの流派を超えたユニット「弧の会」の圧倒的な舞台をお送りする。 入場料金未定 (600人)	2/28(日)	事業収入	0円
支出				0円	
差額				0円	
鳥取県文化振興財団等 共催事業	公共機関や公共性の高い民間機関(報道機関等)と共催することで、より多くの事業を市民に提供する。内容は検討中。	未定	事業収入	0円	
			支出	0円	
			差額	0円	
参加型事業	市民交流事業	前広場や大ホールを会場にコンサート、まつり、展示などの催しを実施する。継続事業①春の文化祭②夏祭り③米子盆踊り大会(協力)④ハロウィン⑤イルミネーション・マチナカクリスタルほか	①5月予定 ②8月予定 ③8月予定 ④10月予定 ⑤12月予定	事業収入	300,000円
				支出	900,000円
				差額	△600,000円
	NHK公開収録 (米子市共催)	開催申請中。	未定	事業収入	0円
				支出	0円
差額	0円				

区分	事業名	内容・入場料	開催日	備考	
教育普及事業	Feelおでかけ事業	普段、ホールに出かける機会の少ない方を対象に、ホールではない場所(小中学校や病院など)へ地元の演奏家などを派遣し、ミニコンサートなどを実施する。	未定	事業収入	0円
				支出	50,000円
				差額	△ 50,000円
	米子高専連携事業 連携講座 (米子高専共催)	米子高専と連携して、子供向けの科学教室や高齢者向けの健康講座を開催する。令和2年度の内容は検討中。	未定	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	当財団施設連携事業	米子市文化財団が管理している施設等が集い、施設ごとの特色あるワークショップ事業等を体験してもらい、文化活動に対する関心の向上につなげる。	未定	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円

米子市文化ホール

区分	事業名	内容・入場料	開催日	備考	
鑑賞事業	劇団四季 ミュージカル (米子市教育委員会共催)	米子市内の小学校6年生を対象に（一財）舞台芸術センターが“こころの劇場”として全国公演をしている劇団四季ミュージカル公演を米子市教育委員会と共催で実施する。 会場：メインホール 入場料：無料（1,100人）	7月15日（水）	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	米子歴史絵巻 (山陰歴史館共催) (米子市淀江文化センター協力)	第9回目を迎える。米子市内に点在する歴史的遺産を活用し、その価値を地域住民、県内外の方に周知することを目的とした事業。令和2年度は「因幡の麒麟獅子舞・因幡の傘踊り」を「国史跡 上淀廃寺跡」を会場として実施する。 入場料無料（250人）	9月20日（日）	事業収入	0円
支出	40,000円				
差額	△40,000円				
参加型事業	第62回米子市音楽祭 (米子市音楽祭実行委員会共催)	地元の音楽団体による音楽演奏会を開催し、演奏レベルの向上と音楽の普及を図る。公募によるコンサート（合唱・JAZZ・アコースティック・フリージャンル・アカペラ/バンド）を開催する。メインホールで『米子市音楽祭ジャズSpecial「MALTA×米子市音楽祭」』も開催する。 会場：米子市文化ホール、米子市公会堂、米子市淀江文化センター 入場料：一般500円高校生以下無料（5コンサート共通券）、「MALTA×米子市音楽祭」1,500円（5コンサート共通券付） (2,460+500=2,960人)	6月～7月	事業収入	1,500,000円
				支出	△1,500,000円
				差額	0円
	NHK全国学校音楽コンクール 鳥取県コンクール (NHK鳥取放送局・全日本音楽教育研究会共催)	全国の小学校児童並びに中学校・高等学校生徒の音楽性を高め、音楽教育の向上に役立てるとともに日ごろの成果を発表する機会として実施されるコンクールの鳥取県内コンクールを実施する。 会場：メインホール 入場料：無料（600人）	9月13日 （日）	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	童謡講座	童謡、唱歌、新しいこどもの歌まで、楽しく歌えるよう指導し、音楽文化振興を図る。移動わらべ館コンサートや特別講座を開講し、会場とステージが一緒になって楽しめるイベントを実施する。 月曜コース 1,000円/年(500人) 木曜コース 1,000円/年(100人) チャイルドコース無料(180人)	月曜・木曜 ・チャイルドコース 通年 特別講座 3月	事業収入	600,000円
				支出	1,000,000円
				差額	△400,000円
	「ダンス・フェス1 ver. 12」	ダンスの発表の場を提供するとともに、団体間の相互交流を進めることにより、文化の振興と育成を図る。 入場料1,000円 参加費2,000円 (1,200人)	2月6日（土） ・7日（日）	事業収入	1,150,000円
支出				1,600,000円	
差額				△450,000円	
市民交流事業	文化ホール（多目的広場等）を活用して市民が集い、憩える場所を提供し、地域活性化の一端を担うとともに文化事業の啓発を図る。 ①「お仕事チャレンジ舞台体験」 ②「茶道体験講座」（仮） ③「ネギ来ステージ、ネギ来スイーツ通り」④「イルミネーション点灯式」	① 8月予定 ② 調整中 ③10月24,25日 ④11月予定	事業収入	0円	
			支出	100,000円	
			差額	△100,000円	

区分	事業名	内容・入場料	開催日	備考	
教育普及事業	鷺見三郎顕彰事業 第28回米子ユースオーケストラ演奏会 (鷺見三郎顕彰事業 実行委員会共催)	学校や音楽教室の枠を越えた青少年管弦楽演奏者を育成し、音楽文化振興に努める。年間を通じた練習活動を実施する。 入場料：無料(整理券発行)	3月28日(日)	事業収入	0円
				支出	1,400,000円
				差額	△1,400,000円
	財団連携事業	米子市文化財団が管理している施設等が集い、施設ごとの特色あるワークショップ事業等を体験してもらい、文化活動に対する関心の向上につなげる。	未定	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	Feelおでかけ事業	普段、ホールに出かける機会の少ない方を対象に、ホールではない場所(小中学校や病院など)へ地元の演奏家などを派遣し、ミニコンサートなどを実施する。	未定	事業収入	0円
				支出	70,000円
				差額	△70,000円
	情報提供事業	文化ホール・公会堂・淀江文化センターなどの利用促進や事業PRをするために随時ホームページを更新するとともに、3館の施設イベント案内情報紙Feelを毎月発行する。 従来の友の会事業と相互に協力し充実強化を図る。	通年	事業収入	200,000円
				支出	400,000円
				差額	△200,000円

米子市淀江文化センター

区分	事業名	内容・入場料	開催日	備考	
鑑賞事業	【新規】メイン事業 劇団あしぶえ「セロ弾きのゴーシュ」米子公演 (NPO法人あしぶえ共催)	松江八雲村の森のシアターの専属劇団である「劇団あしぶえ」が30年間上演している名作「セロ弾きのゴーシュ」の公演を行う。 一般1,800円、5歳から高校生1,000円、親子2,500円当日各500円増し(400人)	5月24日(日)	事業収入	600,000円
				支出	1,980,000円
				差額	△1,380,000円
	【新規】鳥取県文化振興財団連携事業 演劇「願いのかなうぐつぐつカクテル」(予定) (鳥取県文化振興財団共催)	鳥取県文化振興財団と共催で、新国立劇場のファミリー向け演劇公演を開催し、新規鑑賞者の拡大と親子や青少年の文化芸術体験の充実を図る。 一般:5,000円、U-18:1,500円(全席共通)(500人)	8月2日(日)	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	星空コンサート (音の絵本制作委員会・よなご星の会・さなめラララ♪すてーじ実行委員会・米子市児童文化センターと連携)	家族・親子で楽しめる事業を開催することで、ホールへの興味関心を高めてもらうために、物語やお話の世界を音楽で表現する。晴天時には屋外で天体観測会を実施する。 一般500円、小中学生・高校生300円、親子ペア700円(当日各100円増)(400人)	8月10日(月・祝)	事業収入	105,000円
				支出	360,000円
				差額	△255,000円
	さなめ ラララ♪すてーじ (さなめラララ♪すてーじ実行委員会共催)	季節感を取り入れながら、地元で活躍している音楽グループの発表の場を作るとともに鑑賞型のコンサートを開催する。 一般・大学生600円、小中学生・高校生300円(100人)	4月4日(土)	事業収入	60,000円
				支出	70,000円
				差額	△10,000円
	ファミリーコンサート ～音楽のおもちゃ箱～ (特定非営利活動法人こども未来ネットワークと連携)	乳幼児から大人まで幅広く楽しんで頂けるコンサートを地元の演奏家と企画し、午前と午後の2ステージ実施する。 高校生以上一般500円、0才から中学生300円(当日各200円増)(350人)	12月19日(土)	事業収入	220,000円
				支出	260,000円
				差額	△40,000円
市民交流事業	①ロビー展示 ロビーを地域の人たちの作品展示の場として提供し、地域活性化の一端を担う。 ②ランチタイムレコード 平日の昼間にレコードを鑑賞する機会の提供をする。 ③さなめ寿劇場 郷土芸能や寄席、無声映画などを鑑賞する場を提供する。 ④フォトコンテスト 写真展を通して淀江の魅力を再発見してもらう。 ⑤ゆめ講演会 講演会を通して、地域振興を図る。	①通年	事業収入	79,000円	
		②毎月1回			
		③5月、7月、9月、1月、3月	支出	209,000円	
		④5月1日(金)～2021年1月15日(金)予定	差額	△130,000円	
		⑤11月19日(木)頃			

区分	事業名	内容・入場料	開催日	備考	
鑑賞事業	Feelおでかけ事業	普段、ホールに出かける機会の少ない方を対象に、ホールではない場所(小中学校や病院など)へ地元の演奏家などを派遣し、ミニコンサートなどを実施する。	通年	事業収入	0円
				支出	50,000円
				差額	△ 50,000円
参加型事業	【新規】 (仮称) 歴史講座 (上淀白鳳の丘展示館と連携)	汗入地域や淀江地域の魅力を再発見する事業を行う。 (20人)	3～4回	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	こども夢広場 (よどえ夢まつり実行委員会と連携)	内容は、よどえ夢まつり実行委員会と調整する。 (4,000人)	10月25日(日)	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	利用促進事業 開放舞台。	大ホール及びイベントホールでピアノを低料金で利用いただき、ホールの利用促進に繋げる。 (11人)	年1回程度	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
教育普及事業	米子高専連携事業 夏休みこども体験教室 (米子高専・米子市美術館と連携)	子どもたちを対象に科学や工作の教室を開催し、科学の不思議や面白さ、もの作りの楽しさを体験してもらう。 (50人)	夏休み期間中	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円
	当財団施設連携事業	米子市文化財団が管理している施設等が集い、施設ごとの特色あるワークショップ事業等を体験してもらい、文化活動に対する関心の向上につなげる。	未定	事業収入	0円
				支出	0円
				差額	0円

【補足資料】

モニタリングについて

モニタリングについて

1 モニタリングの定義

モニタリングとは「指定管理者による業務が、条例、規則及び協定書等に従い、適切かつ確実なサービスの提供が確保されているかを市が確認する行為」です。また「安定的、継続的にサービスを提供することが可能であるか監視し、必要に応じ改善に向けた指導、助言を行い、管理運営の継続が適当でないと認めるときは指定の取消し又は管理業務の停止を行うこと」も含めたチェック体制でもあります。

2 モニタリングの目的

(1) 施設の設置目的の達成

市民の利用状況や評価、指定管理者による管理運営が施設の設置目的のためにどのような成果を上げたかを把握し、必要な指導を行うことで、より効果的、効率的な管理運営を図ります。

(2) リスクの軽減

指定管理者のモニタリングを実施することにより、施設における重大な事故、事故の予兆を見逃したり、指定管理者の運営業務や組織そのものが破綻し、施設の運営が継続できないといった状況やコスト削減による公共サービスの水準の低下、管理が不適切であったため行政コストが高くなるといった状況が発生するリスクを軽減します。

(3) 透明性の確保

市の施策や指定管理者の指定に関し、市民に対する説明責任の観点から、施設の管理運営状況を適切に把握し、その成果を評価、検証し、公表します。

3 第三者評価

指定管理者による施設の管理運営業務のサービス水準の維持・向上及び財務状況等について市が実施した調査・評価などのモニタリング結果について、より客観性を高めるため評価委員会等からモニタリングの結果について検証と評価をいただきます。

(別紙3)

文起第938号 - 1
令和元年9月26日

(施設名) 米子市公会堂
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

平成30年度「米子市公会堂」指定管理者業務評価書

施設名	米子市公会堂
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

事業周知に努め、利用者数が昨年を上回る高い水準であったことは評価できる。公会堂開館60周年記念として、地元出身の演奏家によるオペラコンサートやジャズコンサート、ピアノをテーマにしたコンサートなど数多くの記念事業を開催するなど、大勢の市民に楽しんでもらうため自主事業に工夫が見られる点も評価できる。また、花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理し美観を保っている。小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。

【第三者評価】

① 施設について

- 近くに駐車場も増え利用しやすくなりました。
- 利用者のアンケート、要望をもとに改善、修繕を行っていること、職員で周辺の花壇の植え替え整備は評価できる。公会堂に行くと花壇、事務室前の植物に癒される。
- 外部の方の清掃に加え職員が意識して行っておられるようなので評価できる。
- 昨年度のように、公会堂周辺の除草活動、清掃活動、季節イベント等に民間企業や市民の参加を募り、市民と共に進めることが、公会堂をより身近な施設として感じてもらえるのではないだろうか。
- 施設や便所のサインの増設等、利用者の苦情に対しては対応できています。
- 行き届いた管理が行われている。特徴的な外観は、長年に渡って米子市のシンボルとしての役割を果たし、米子を離れた市民にとっても帰省の際には心の和むふるさとの風景である。建物の美しさが映える前庭づくり等について、専門家の意見も含めてのアレンジを期待したい。
- 米子市公会堂は改修工事が行われたが、部分的には建物部分や備品など経年変化は付きものである。事業報告によると、今年度(30年度)も細やかに対処・改善をすすめていることがうかがえた。除雪機や舞台・ホワイエ用の椅子・ステージ用のLED照明などの購入、また、小修繕として館内の壁の色塗

りや襖の修理・点字ブロックの補修など職員作業によるコスト削減にも努力がうかがわれ、それに加え施設周辺歩道の除草作業や清掃・植栽などの環境美化にも努力がうかがえた。

○利用者サービスについても、トイレ位置の看板設置や駐車場利用の改善促進がはかられ、インターネットやマスコミを通じての情報提供など、努力が感じられた。

② 管理について

○適切に管理されていると思います。

○日々、毎月の点検を欠かさず行われていることは評価できる。

○職員が少ない中での苦労はないか心配である。

○夜10時までの開館なので、職員の拘束時間が長くなっていないか、疲労が重なって管理に支障は起きていないか心配である。

○防災コンサートなどの実施は、今後も開催されることが望ましい。

○前庭の開放やホワイエの活用等、積極的な活用が公会堂が市民にとってより身近な施設となってきているように感じます。

○近隣駐車場との連携は、公会堂利用の大きな課題であったと思いますが、駐車場利用のみならず、イベント空間の連携としても、中心市街地の利用者拡大につながり、大きな成果を得ていると評価します。

○近隣駐車場の大型バス利用（駐車）が推進されれば、境港のクルーズ船利用者を主としたインバウンドに対して、中心市街地の百貨店利用、日本の文化との触れ合うきっかけづくり→（が）中心市街地の活性化などに対応していると思います。そうなれば、サインやパンフレット等の多言語対応が課題となります。

○公会堂には無料の駐車スペースはほとんどないという認識が多い。近隣駐車場と提携した1時間無料サービスがあることについては、利用頻度の高い使用者を除き、まだまだ周知されていない現状がある。利用促進を図るために、一層の広報が必要だと考える。

③ 事業について

○大きな事業もたくさんあり、充実していたように思います。

○60周年事業で積極的に事業を展開された事は評価できる。

○毎年、周辺の商店街と連携して事業への取組を大切にしておられることがよく判るし今後も継続して行われることが望ましい。

○集会室利用者、公会堂利用者が一緒に参加できるような事業を立ち上げられて取り組まれている事は素晴らしいと思う。

○今後も、インターネットやSNS、マスコミを十分に活用し、（傾向を見極めながらインバウンドも対象に加えるなど）幅広い情報発信、情報交換に努めてほしい。

○3月の「Piano Piano」を鑑賞した。舞台スタッフの努力と充実を感じた。

○参加者対象年齢の絞り込みや、ファン層や知名度を意識した事業展開が行われている。広報についても、交差点側に配置した大きなパネルは効果的である。次の事業企画についてのパネルに替わるのを楽しみにしている市民も多く、集客に大きく影響している。

○今年度も多くの質の良い事業が実施されていると感じられた。特に、開館60周年記念事業のひとつとして大阪交響楽団のオペラコンサート～地元出身の山本耕平氏・佐田山千恵氏を迎えて～を実現し、普段では視聴することができにくいフルオーケストラや声楽デュオの魅力を存分に市民に提供できたことは意義深いものがある。また、音楽の都ウィーンよりウィーン・フィルの豪華メンバーによる「ウィーン・リング・アンサンブル」のニューイヤーコンサートも、素晴らしい今年の60周年記念事業に華を添えるものであった。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

良好な施設管理、PR活動等を継続するとともに、ホールの客席数や音響等の施設の特性を活かして催しの誘致活動を行い、多くの市民が利用できる環境を整えてほしい。

【第三者評価】

- 利用者の高齢化が進んでいると思いますが、備品の机のコマの位置などでつまづいたり、転んだりする可能性があるので、設置の仕方などを伝えることも今後必要ではないかと考えます。
- 公会堂は構造上、大きな事業をする時の人員配置など、多くの人が必要になるので、職員の負担にならないようなことも考える必要があるのではと考えます。
- コンサートが始まる前、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてくださいとの放送がありますが、私は電源を切るべきと、放送するべきと思う。
- 公会堂は、米子の中心市街地の顔。隣接する高島屋やひまわり駐車場の他、リニューアルされる高島屋東館やえる・もーる一番街、朝日町との連携による、面としての積極的な展開が望まれます。
- 特にはないが、今後も細やかな施設管理に努めていていただきたい。
- 駐車場が少ないのが、なんといっても難点。「やよい」撤去あとの新しい「ひまわり」駐車場に加え、「ふれあいの里」の駐車場にも期待をかけたところ。市役所駐車場同様、カード式無料化となれば、利用者としては大変ありがたいのであるが…。

(別紙3)

文起第938号 - 1
令和元年9月26日

(施設名) 米子市文化ホール
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

平成30年度「米子市文化ホール」指定管理者業務評価書

施設名	米子市文化ホール
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

様々な広報活動により情報発信を行い事業周知に努め、利用者数が昨年を上回る高い水準であったことは評価できる。多くの自主事業が円滑に行われており、特に米子市音楽祭は60回記念としてメモリアルコンサートを開催し、米子市出身のピアニストをゲストに招き米子市近郊で音楽活動を行っているアーティストの共演機会を作るなど、音楽を通じて地域文化の向上に努めている点も評価できる。また、年々老朽化していく施設、設備の巡回点検を強化し、不具合に迅速に対処するなど、施設管理に対する取組も評価できる。

【第三者評価】

- ① 施設について
- 老朽化した施設、設備の不具合への対応が出来ている事は評価できるが、市の予算をつけて修繕を図ったと思います。
 - 稼働率が高い施設であり、米子駅から米子に入る入り口の施設なので早くきれいにしてもらうことを望みます。
 - 施設周辺の清掃活動や高校との協働作業などは評価できます。今後も、地域との交流や協働を意識した、利用者と一体となった施設運営が望まれます。
 - 中通路のイメージやトイレの洗浄機能付便座等、施設の老朽化が気になります。
 - 投影(映写)施設の充実を望みたい。
 - 老朽化については予算等もあるため、味わいのある建物としての生かし方を工夫することも一案だと考える。
 - 建物部分及び備品等、経年変化はつきものであるが、細やかに対処・改善をすすめていることがうかがえる。メインホール前室カーペットの張り替え、イベントホールや展示室の椅子・長机の溶接修理、メインホール照明の改修工事などに加え、施設周辺や歩道等のゴミ拾いや除草・剪定なども引き続き実施されている。今後も細やかな点検・対処をすすめて欲しい。

○米子高校から寄贈を受けた花苗を生徒たちと一緒に多目的広場のプランターへの植栽事業を引き続き実施されており、外部団体との連携の一環として大変意義深いと感じた。加えて利用者サービスとしても、受付案内をより迅速に行えるよう、引き続き臨時職員さんの1人増員など利用者の視点に立った努力や配慮が感じられた。

② 管理について

○適切に管理されていると思います。

○日々、毎月の点検での苦労はないでしょうか？イベント案内、ポスター掲示が多いので終了した物の撤去など大変だと思います。いつも職員の方が掲示をされているのを見かけます。

○周辺施設の多目的広場やスペースにプランターなどの花を植えて季節ごとに変えておられること、とても評価できます。多目的広場のプランターを高校生に描いてもらうのはとてもいいと思う。高校生が取り組んでいる様子を見かけるのも楽しい。

○今後も前庭空間の有効活用など、米子駅前の顔として、より一層の米子の顔づくりや安全性、親しみやすさを意識した管理を希望します。

○職員増員による接客対応の充実に期待しています。

○スタッフ等の対応の丁寧さには好評価を感じる。

○接客について個人の資質だけに頼ることのない組織的な改善が図られている。

○駅に近いことや目的に応じた活用がしやすいホールや会議室を備えた施設であることを生かした利用促進を期待する。

③ 事業について

○地元密着のイベントも多くあり充実していたように思います。

○米子市音楽祭の継続実施、地域との連携での事業の取り組み、また継続して行っている童謡を歌う会、鷲見三郎顕彰事業など地道な取り組みは評価できる。

○鑑賞事業の山陰歴史館の取り組みは、とても評価できる。今後も継続して行ってほしい。

○今後も、インターネットやSNS、マスコミを十分に活用し、幅広い情報発信、情報交換に努めてほしい。市民からアイデアを募るなど、前庭の積極的な活用を検討してほしい。

○身近に感じることでできる事業展開が行われている。芸術文化の発信はもとより、市民団体のイベントづくりや若年層の活躍を促進する事業を期待したい。

○多くの質の良い事業が実施されていると感じられた。映画や音楽などを中心に、米子の文化向上に資するものである。参加型事業も教育普及事業も貴重な取り組みであると感じた。特に、劇団四季による「魔法をすてたマジョリン」は市内某小学校の学習発表会でも6年生演技が行われるなど、教育現場に良い影響を与えていた。

○今年度も市民交流事業として「農と食のフェスタ?せいぶ」に参画し、多目的広場でのステージ発表他メインホールやイベントホールでの催し物にも参加、米子駅前周辺の活性化にも協力できたことは大変意義あることと感じられた。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

利用者が使用しやすい中規模ホールで立地条件も良いことから、稼働率の高い施設であり、今後も引き続き利用者が安心して使用できるよう、適切な施設管理を継続していただきたい。自主事業については、引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら内容を精査し、本市の芸術文化の振興に資するものとなるよう努めてほしい。

【第三者評価】

- 早急な改修をおこなってほしい。
- コンサートが始まる前、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてくださいとの放送がありますが、私は電源を切るべきと、放送するべきと思う。
- 隣接するイオンやビッグ・シップ、駅前通り（宿泊施設・飲食施設）、または、中心市街地のもう一方の核である角盤町エリアとの連携による、中心市街地の面としての更なる積極的な展開、活用の検討が望まれます。
- 特になし
- 米子駅前という好立地「イオン」の駐車場の共用という利便性を生かし、メインホールと事務室側との間のオープンスペースなど、市公会堂とはまた異なった特色を持っている文化ホールである。今後も、その特色・特性を生かした事業等を行っていただきたい。
- ビッグシップ等との大イベントが重なった際、駐車場周辺が大渋滞となることがあった。主催者側にて早めの運転者連絡（プラカード等による渋滞連絡など）をアドバイスできると良いかもしれない。（運転者は別の駐車場を考えることができる…。）

(別紙3)

文起第938号 - 1
令和元年9月26日

(施設名) 米子市淀江文化センター
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

平成30年度「米子市淀江文化センター」指定管理者業務評価書

施設名	米子市淀江文化センター
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (3年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

様々なメディアなどを介して情報発信を行い、施設の利用促進を図っている点は評価できる。また、淀江という立地を生かし地元を主とした企画・取組みが行われ、駐車場との距離が近く車で来館しやすいという特徴を活かした子供向け、家族向けの事業を展開し、気軽に施設を利用できる事業が行なわれ、他館と差別化が行われている点も評価できる。さらに、駐車区画の増設と駐車場全体の白線の引き直しを職員で行ったり、老朽化した施設、設備の不具合に迅速に対応し、小規模な修繕については職員で実施するなど施設管理に対する取り組みも評価できる。

【第三者評価】

① 施設について

- 周辺が自然に囲まれていることもあり、昆虫やクモなどの侵入、雑草などの処理が大変と思いますが継続して維持していただきたいと思います。
- 地域に密着した事業展開が見受けられ、公共交通機関の不便さを感じさせない、独特の施設運営がされていると思います。
- 駐車場の敷地内保有と無料提供であることが大きな特徴である。施設については、文化センターらしさを演出した工夫を期待したい。
- 建設から20年が経つということで建物や備品など経年劣化が考えられるが、小修繕は職員で行うなど節約や維持管理に努力していることがうかがわれる。メンテナンスに対する配慮が今後も重要であると感じた。
- 天井灯のこまめな交換や、長机キャスターのゆるみ点検、ホワイエのコンクリート床の修繕など、利用者サービスや経費削減にも心を配っていることがうかがわれた。環境整備にも、努力が感じられた。
- 利用者サービスの一環として、駐車場白線の引き直しや新スペースの確保など、時の推移に対応した環境整備の努力も感じられた。
- 会場やホールの練習場所としてのPRや、ホームページ・フェイスブック・中海テレビ文字情報などを活用した広報活動にも努力が感じられた。

○「星空コンサート」「ファミリーコンサート」などの子どもたちへの鑑賞の継続は、意義深いものを感じる。加えて3,800人も参加者があった「こども夢広場」も、地域の活性化に大いに寄与している。

② 管理について

- 適切に管理されていると思います。
- こまめな修繕を行ない維持に努めていて評価できる。

③ 事業について

- 淀江らしいイベントも多くあり充実していたように思います。
- 米子市内から遠く、いかに「さなめホール」に来てもらうかの取り組みを継続して行なっていることが評価できる。※ランチタイムレコード、ふぁみりーコンサート、はるかなでなど位置づけと対象者を明確にしている。
- ロビーを利用した、木工や写真展示など、地元のグループとの連携も図れていると感じる。
- 職員の方々の日々の努力が見て取れます。今後も、地域に根差し、他の2施設とは違う文化施設の在り方を提案していただけると期待しています。
- 「ランチタイムレコード」事業については評価が高く、施設管理等、無理がなければ回数を増やすことも考えられる。
- 地域の文化振興に寄与する事業の拡大を期待する。
- 多くの鑑賞事業・参加型事業・教育普及事業に加え、淀江地区をテーマとした事業とか「ランチタイムレコード」という定期的なイベント事業など、特色ある事業が定着しつつある。ロビー等の活用も含め、事業アイデアの努力がうかがえる。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

引き続き適切な施設管理に努めるとともに、施設及び地域の特性を生かした企画や立地条件を生かした子供向け、家族向けのイベントなどに取組み、他館との差別化をいっそう明確にすることで施設の存在感を高めてほしい。

【第三者評価】

- コンサートが始まる前、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてくださいとの放送がありますが、私は電源を切るべきと、放送するべきと思う。
- 米子の中心市街地ではない、地域の特性を活かした文化・芸術・生活の拠点としての機能を維持してほしい。
- 交通手段の不便さが話題となる。バスの回送など利便性については考えられないものか。
- 特になし
- 米子市の旧市街地から離れた立地条件ではあるが、今後も淀江地区の特色を生かした事業や旧市街地の米子市民が出掛けたくくなるような事業アイデアの推進に期待したい。